

# X1-4K/X2-4K

プロジェクター  
ユーザーガイド



モデル番号 VS19300/ VS19302  
型番：X1-4K/X2-4K

## **ViewSonic®をお選びいただき、 ありがとうございます。**

ViewSonic®は、ビジュアルソリューションの世界有数のプロバイダとして、技術の進化、革新、シンプルさに対する世界の期待を超えることに専心しています。ViewSonic®では、当社の製品は世界中でプラスの影響を与えることができると考えており、お客様が選択されたViewSonic®製品がお客様に役立つと確信しています。

繰り返しになりますが、ViewSonic®をお選びいただき、誠にありがとうございます。

# 安全上のご注意

このプロジェクターをお使いになる前に、以下の**安全上のご注意**をよくお読みください。

- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- 換気を妨げないよう、プロジェクターの周囲、最低50cmは、清潔な状態を保ってください。
- プロジェクターは風通しの良い場所に置いてください。また、プロジェクターの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。
- プロジェクターを傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- 操作中はプロジェクターレンズを直視しないでください。強烈な光線により目を傷めることがあります。
- プロジェクターのランプが点灯しているときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
- プロジェクターの動作中は、投影レンズを物で塞がないでください。物が加熱されて変形したり、火災の原因となる可能性があります。
- 動作中はランプが非常に高温になります。交換のためにランプアセンブリを取り外す前に、プロジェクターを約45分間冷却してください。
- 定格ランプ寿命を超えてランプを使用しないでください。定格寿命を超えて過度にランプを使用すると、まれにランプが破損する可能性があります。
- プロジェクターの電源プラグを抜かない限り、ランプアセンブリまたは電子部品を交換しないでください。
- プロジェクターを分解しないでください。内部に危険な高電圧があり、通電箇所に触れると、死亡する可能性があります。
- プロジェクターを移動させる際は、落としたり、何かにぶついたりしないように十分にご注意ください。
- また、プロジェクターまたは接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- プロジェクターを垂直に立てないでください。そうすることで、プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。

- プロジェクターは直射日光の当たる場所に置かないでください。ラジエーター、ヒートレジスタ、ストーブ、またはプロジェクターの温度を危険なレベルまで上昇させる可能性のあるその他の装置(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しないでください。
- プロジェクターの近くまたは上に液体を置かないでください。プロジェクター内に液体がこぼれた場合、故障する可能性があります。プロジェクターが濡れた場合は、電源から外し、最寄りのサービスセンターに電話して、プロジェクターの修理を依頼してください。
- プロジェクターが動作しているとき、換気グリルから熱気や臭いを感じることがあります。これは正常な動作であり、故障ではありません。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用ブレードは、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。プロジェクターから突出した電源コード部分は、特に注意してください。
- 国によっては、電圧が安定していません。このプロジェクターは、AC100~240Vの電圧範囲で安全に動作するように設計されていますが、停電または±10Vのサージが発生すると故障することがあります。電圧が変動したり、遮断される可能性がある場所では、電源安定装置、サージ保護装置、または無停電電源装置(UPS)を介してプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちにプロジェクターの電源を切り、販売店またはViewSonic®にご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- 付属品/アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。



**注意：** この製品から、危険な光放射が放出される可能性があります。明るい光源と同様に、ビームを見つめないでください、RG2 IEC 62471-5:2015

# 安全上のご注意 - 天井取り付け

このプロジェクターをお使いになる前に、以下の**安全上のご注意**をよくお読みください。

プロジェクターを天井に取り付ける場合は、適切なプロジェクター天井取り付けキットを使用し、しっかりと安全に取り付けられていることを確認することを強くお勧めします。

不適切なプロジェクター天井取り付けキットを使用すると、間違ったゲージや長さのネジを使用することによる不適切な取り付けにより、プロジェクターが天井から落下する可能性があります。

プロジェクターを購入した場所からプロジェクター天井取り付けキットを購入できます。

# 目次

はじめに.....	9
梱包内容.....	9
概要.....	10
プロジェクター.....	10
制御装置および機能.....	10
接続ポート.....	11
リモコン.....	12
制御装置および機能.....	12
リモコンの有効範囲.....	13
リモコンの電池の交換.....	14
初期設定.....	15
設置場所の選択.....	15
投写サイズ.....	16
16:9 スクリーンの 16:9 画像.....	16
X1-4K.....	16
X2-4K.....	17
16:9 スクリーンの 4:3 画像.....	17
X1-4K.....	17
X2-4K.....	18
プロジェクターの取り付け.....	19
不正使用の禁止.....	20
セキュリティスロットの使い方.....	20
パスワード機能を使う.....	21
パスワードの設定.....	21
パスワードの変更.....	22
パスワード機能を無効にする.....	22
パスワードを忘れた場合.....	23
パスワード呼び出し手順.....	23
コントロールキーをロックする.....	24
接続.....	25
電源に繋ぐ.....	25
ビデオ/コンピューターソースに接続する.....	26
HDMI 接続.....	26
USB C 接続.....	26
オーディオ接続.....	26

<b>操作</b> .....	<b>28</b>
プロジェクターの電源をオン/オフにする .....	28
プロジェクターの起動 .....	28
初回アクティベーション .....	28
WiFi 設定 .....	29
Bluetooth のリモコン設定 .....	30
プロジェクターをシャットダウンする .....	31
入力源の選択 .....	32
投写画像の調整 .....	33
高さ と 投写角度の調整 .....	33
画像サイズ と 明瞭さの微調整 .....	33
台形補正 .....	34
4 隅の調整 .....	35
画像を隠す .....	35
<b>メニュー機能</b> .....	<b>36</b>
一般的なオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの操作 .....	36
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー構造 .....	37
表示メニュー .....	42
画像メニュー .....	45
電源管理メニュー .....	48
基本設定メニュー .....	50
詳細設定メニュー .....	53
システムメニュー .....	57
インフォメーションメニュー .....	59
<b>スマートシステム</b> .....	<b>60</b>
ホーム画面 .....	60
ホーム画面 - オンスクリーンディスプレイ (OSD)	
メニュー構造 .....	61
メニューの操作 .....	63

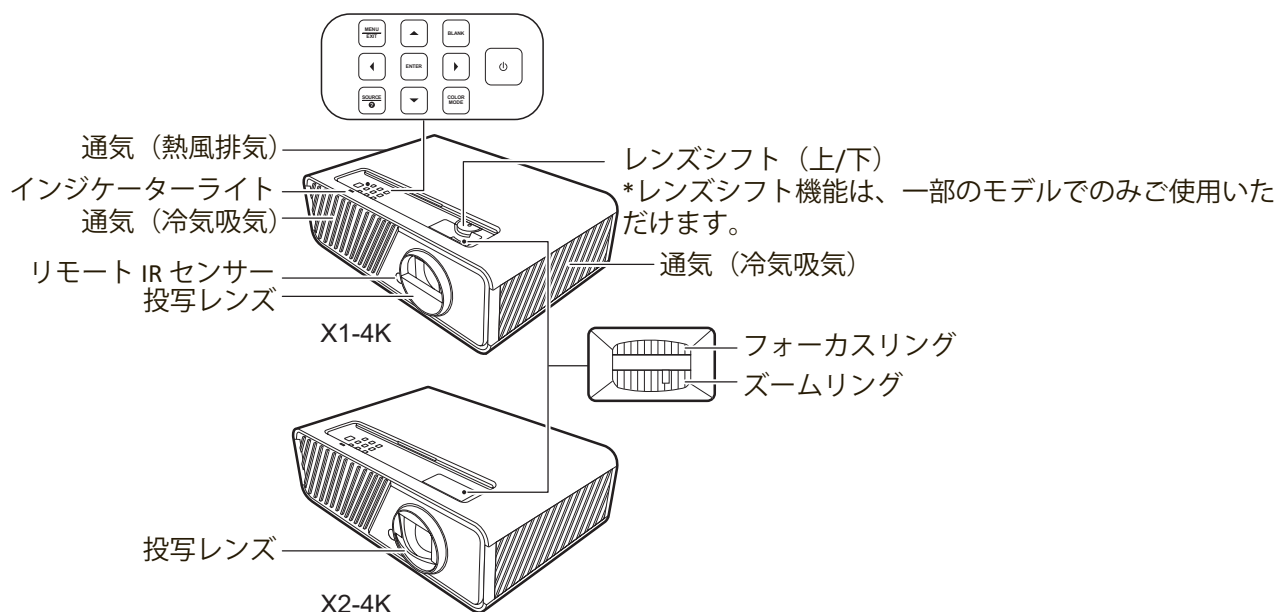
<b>付録</b> .....	<b>89</b>
仕様.....	89
本機サイズ.....	90
タイミングチャート.....	91
トラブルシューティング.....	93
一般的な問題.....	93
LED インジケーター.....	94
メンテナンス.....	95
全般的な注意.....	95
レンズのお手入れ.....	95
ケースのお手入れ.....	95
プロジェクターの保管.....	95
おことわり.....	95
光源について.....	96
光源時間.....	96
光源の寿命を延長するには.....	96





# 概要

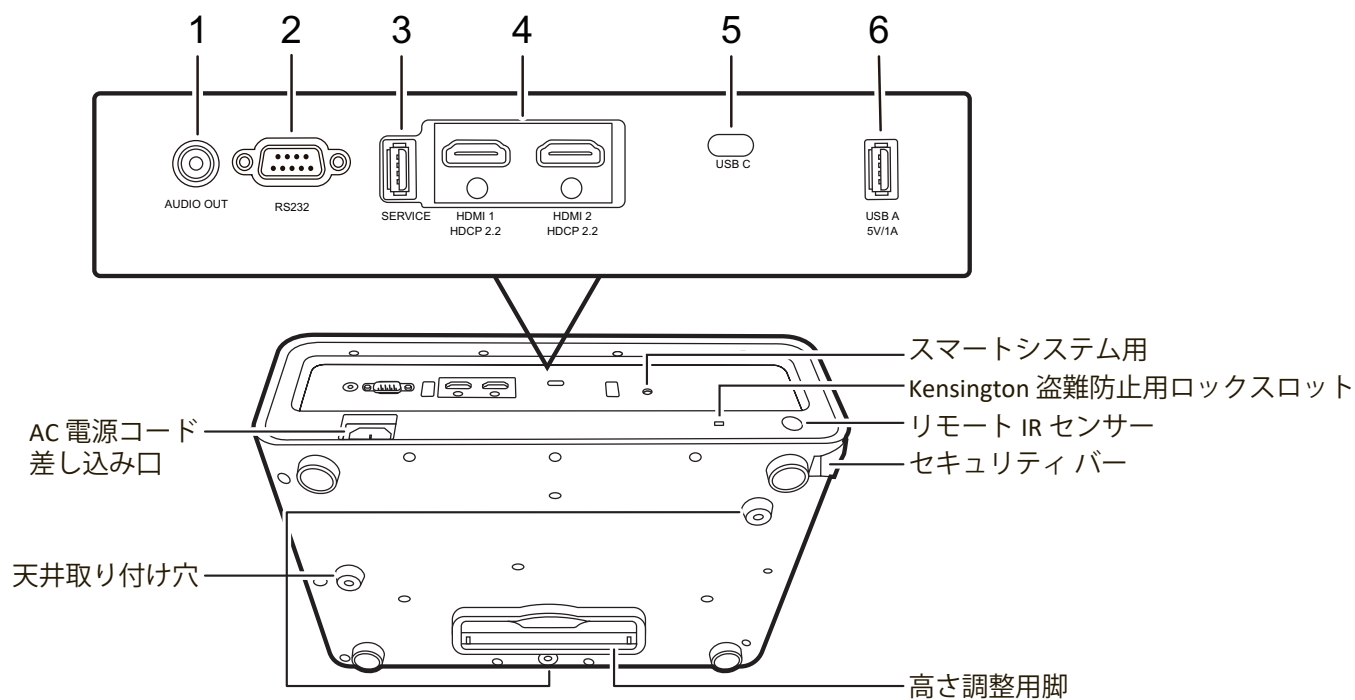
## プロジェクター



## 制御装置および機能

キー	説明
[⏻] 電源	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
MENU	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをオン/オフにします。</li> <li>前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。</li> </ul>
EXIT	
[◀/▶/▲/▼] 左/右/上/下	<p>入力源がスマートシステムの時</p> <p>メニュー項目を移動するか、有効なオプションを切り替えます。</p> <p>入力源がスマートシステムないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。</li> <li>オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効なとき、メニューアイテムを選択し、調整を行うことができます。</li> </ul>
SOURCE	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力源選択バーを表示します。</li> <li>3 秒間の長押しでヘルプメニューを表示します。</li> </ul>
BLANK	スクリーンの画像を非表示にします。
ENTER	<p>入力源がスマートシステムの時</p> <p>選択したメニューアイテムを確定します。</p> <p>入力源がスマートシステムないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四隅の調整メニューを表示します。</li> <li>OSD メニューが有効なとき、選択した OSD メニューアイテムを有効にします。</li> </ul>
COLOR MODE	カラーモード選択バーを表示します。

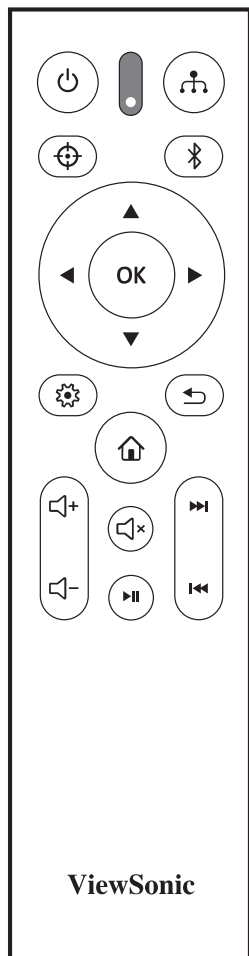
## 接続ポート



ポート	説明
[1] AUDIO OUT	オーディオ信号出力ソケット。
[2] RS-232	RS-232 制御ポート。
[3] SERVICE	補修担当者専用です。
[4] HDMI 1、HDMI 2	HDMI ポート。
[5] USB C	USB Type-C ポート。
[6] USB A 5V/1A OUT	電源用 USB Type A ポート。

# リモコン

## 制御装置および機能



### 入力源がスマートシステムのとき

ボタン	説明
電源	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
⊕	使用不可。
⌂	ソース選択バーを表示します。
📶	Bluetooth メニューを表示します。
◀左/▶右 ▲上/▼下	メニューアイテムを選択し、調整を行います。
OK	選択したメニューアイテムを確定します。
⚙️	OSD メニューをオン/オフにします。または、前の OSD メニューに戻ります。

ボタン	説明
↶	前のメニューかメインの設定メニューに戻るか、アプリを終了します。
⌂	スマートシステムのホームページが開きます。
🔊+	プロジェクターの音量を上げます。
🔊-	プロジェクターの音量を下げます。
🔊×	プロジェクターの音量をミュート/ミュート解除にします。
▶	ファイルを再生または一時停止します。
▶▶	ファイルを早送り、または次のファイルに進みます。
◀◀	ファイルを巻き戻し、または前のファイルに進みます。

### 入力源がスマートシステムないとき

ボタン	説明
電源	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
⊕	使用不可。
⌂	ソース選択バーを表示します。
📶	使用不可。
◀左/▶右 ▲上/▼下	<ul style="list-style-type: none"> <li>投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。</li> <li>オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効なとき、メニューアイテムを選択し、調整を行うことができます。</li> </ul>
OK	選択したメニューアイテムを確定します。
⚙️	OSD メニューをオン/オフにします。または、前の OSD メニューに戻ります。

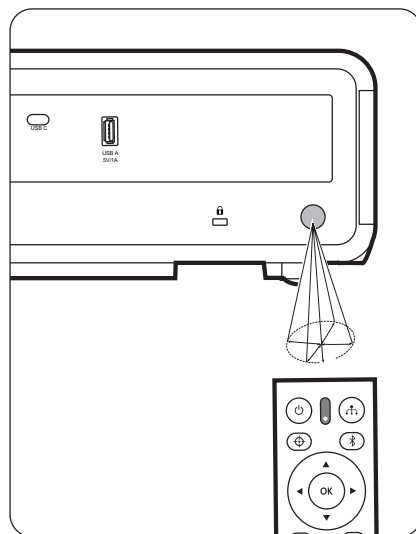
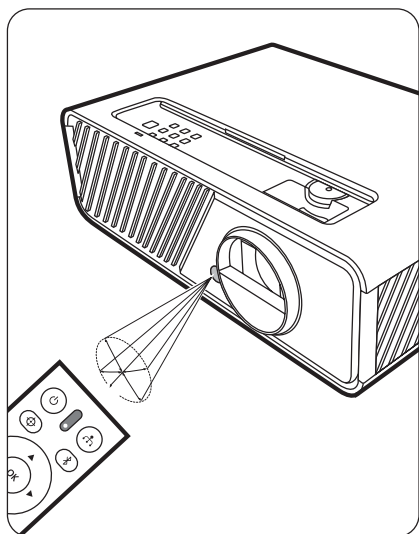
ボタン	説明
↩	メニュー設定を保存して終了します。
🏠	スマートシステムのホームページが開きます。
🔊+	プロジェクターの音量を上げます。
🔊-	プロジェクターの音量を上げます。
🔊×	プロジェクターの音量をミュート/ミュート解除にします。
▶	使用不可。
▶▶	
◀◀	

## リモコンの有効範囲

リモコンを確実に操作するためには、次の手順に従ってください。

1. リモコンは本機の IR リモコン センサーに対して垂直に 30° 以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。
2. リモコンとセンサーの距離は、8メートル（26 フィート）以内でなければなりません。

**注：**赤外線 (IR) リモコン センサーの位置については、図をご覧ください。

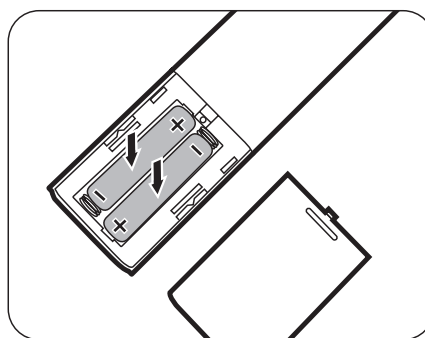
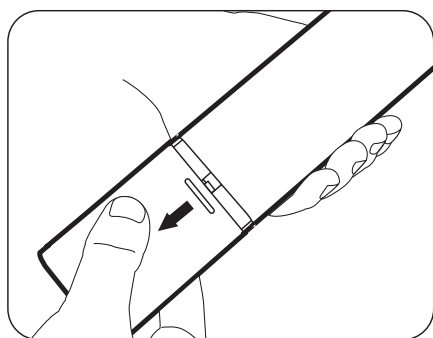


## リモコンの電池の交換

1. リモコンの裏面にある窪みを押して電池カバーをスライドさせると、電池カバーが外れます。
2. 古い電池を取り出して（該当する場合）、2個のAAA（単4）電池を挿入します。

**注：**電池の極性に注意してください。

3. 再びカバーを元に戻してください。



### 注：

- 熱すぎたり、寒すぎたり、あるいは湿度の高い環境の中に長期間リモコンと電池を放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- また、使用済みの電池は各自治体の回収規則にしたがって廃棄してください。
- 電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、リモコンのコントロール部分が破損ないように電池は外しておいてください。

# 初期設定

ここでは、本機の設定について説明します。

## 設置場所の選択

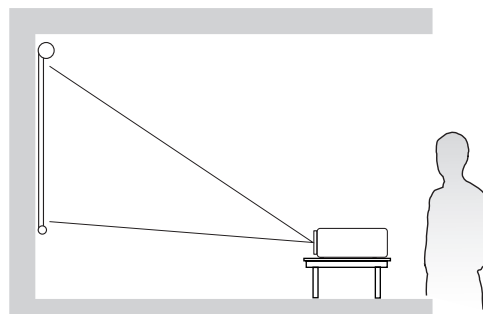
お好みや部屋のレイアウトに応じて設置場所を決めてください。次の点に配慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- コンセントの位置。
- 本機とその他の機器の間の位置と距離。

本機は次のような設置状態で使うことができます。

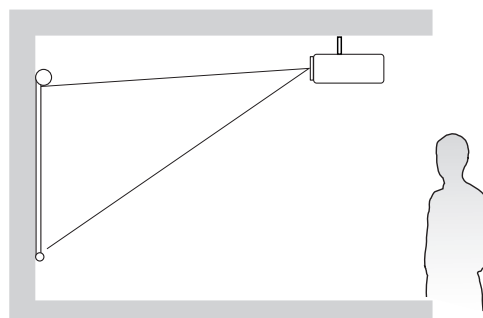
### 1. 正面

スクリーンの正面に床に近い位置に設置します。



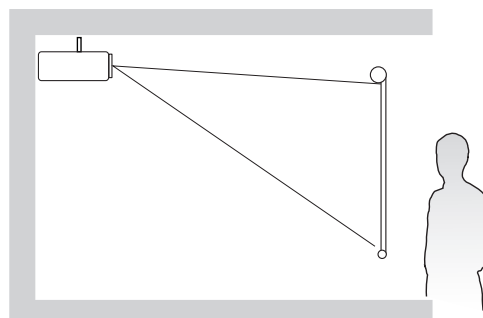
### 2. 天吊正面

スクリーンの正面に天井から上下逆さに吊り下げて設置します。



### 3. 天吊背面

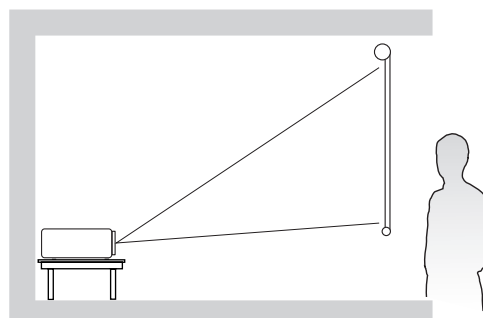
スクリーンの背面に天井から上下逆さに吊り下げて設置します。



**注：**専用の背面投写用スクリーンが必要です。

### 4. 背面

スクリーンの背面から床に近い位置に設置します。

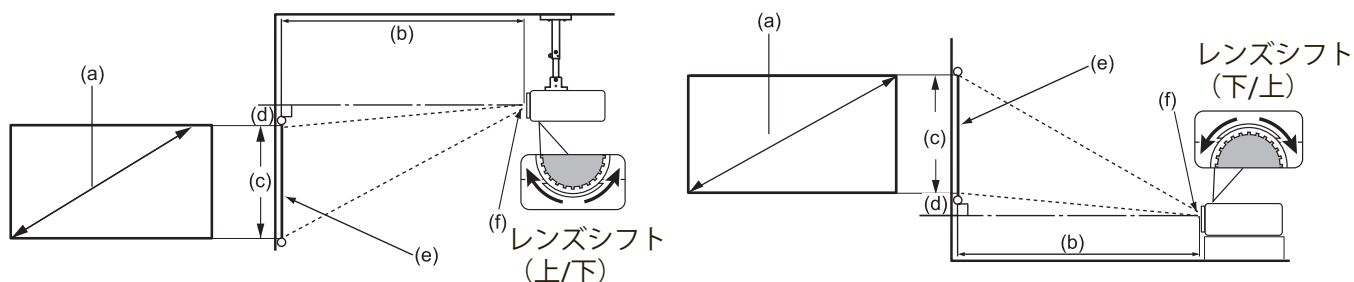


**注：**専用の背面投写用スクリーンが必要です。

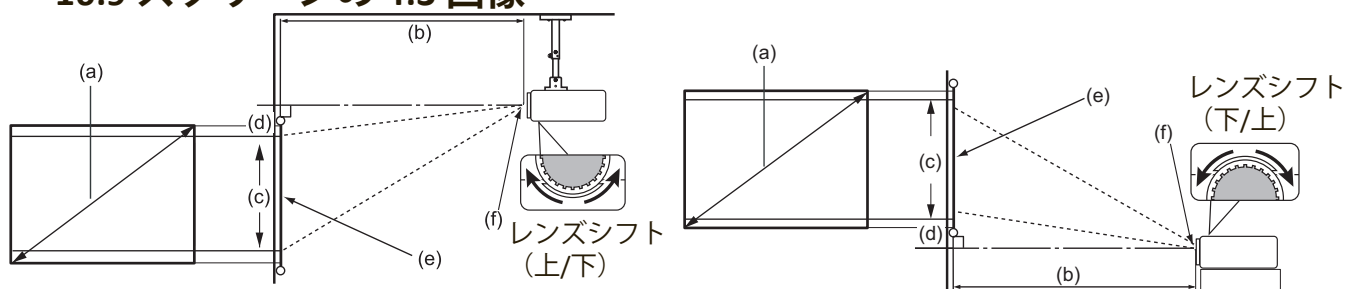
# 投写サイズ

注：本機のネイティブ解像度については、89ページの「仕様」を参照してください。

## • 16:9 スクリーンの 16:9 画像



## • 16:9 スクリーンの 4:3 画像



注： (e) = スクリーン  
 (f) = レンズの中央  
 レンズシフト機能は X1-4K でのみ使用できます。

## • 16:9 スクリーンの 16:9 画像

### X1-4K

(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	60	1522	78	1979	29	747	1.5	37	4.4	112
70	1778	70	1776	91	2309	34	872	1.7	44	5.1	131
80	2032	80	2029	104	2638	39	996	2.0	50	5.9	149
90	2286	90	2283	117	2968	44	1121	2.2	56	6.6	168
100	2540	100	2537	130	3298	49	1245	2.5	62	7.4	187
110	2794	110	2791	143	3628	54	1370	2.7	68	8.1	205
120	3048	120	3044	156	3957	59	1494	2.9	75	8.8	224
130	3302	130	3298	169	4287	64	1619	3.2	81	9.6	243
140	3556	140	3552	182	4617	69	1743	3.4	87	10.3	262
150	3810	150	3805	195	4947	74	1868	3.7	93	11.0	280



## X2-4K

(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	36	909	43	1091	29	747	0.7	19	0.7	19
70	1778	42	1061	50	1273	34	872	0.9	22	0.9	22
80	2032	48	1213	57	1455	39	996	1.0	25	1.0	25
90	2286	54	1364	64	1637	44	1121	1.1	28	1.1	28
100	2540	60	1516	72	1819	49	1245	1.2	31	1.2	31
110	2794	66	1667	79	2001	54	1370	1.3	34	1.3	34
120	3048	72	1819	86	2183	59	1494	1.5	37	1.5	37

- 16:9 スクリーンの 4:3 画像

## X1-4K

(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	55	1397	72	1816	27	686	1	34	4	103
70	1778	64	1630	83	2119	32	800	2	40	5	120
80	2032	73	1863	95	2422	36	914	2	46	5	137
90	2286	83	2096	107	2724	41	1029	2	51	6	154
100	2540	92	2329	119	3027	45	1143	2	57	7	171
110	2794	101	2561	131	3330	50	1257	2	63	7	189
120	3048	110	2794	143	3632	54	1372	3	69	8	206
130	3302	119	3027	155	3935	59	1486	3	74	9	223
140	3556	128	3260	167	4238	63	1600	3	80	9	240
150	3810	138	3493	179	4541	68	1715	3	86	10	257

## X2-4K

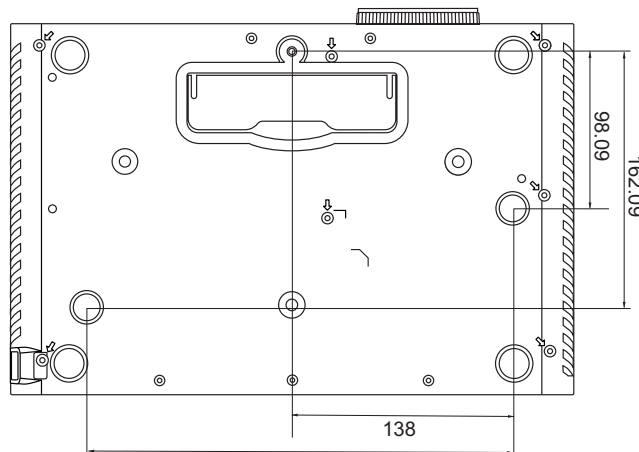
(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	33	835	39	1002	27	686	1	17	1	17
70	1778	38	974	46	1169	32	800	1	20	1	20
80	2032	44	1113	53	1336	36	914	1	23	1	23
90	2286	49	1252	59	1503	41	1029	1	26	1	26
100	2540	55	1391	66	1670	45	1143	1	29	1	29
110	2794	60	1530	72	1837	50	1257	1	31	1	31
120	3048	66	1670	79	2003	54	1372	1	34	1	34

**注：**プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお願いいたします。

## プロジェクターの取り付け

**注：**サードパーティの取り付けキットをご使用になる場合は、正しいサイズのネジをお使いください。ネジサイズは取り付けプレートの厚さによって決まります。

- 1.最も安全に設置するためには、ViewSonic® 製壁または天井取り付けキットをお使いください。
- 2.本機を取り付けるためのネジは、次の仕様を満たしている必要があります。
  - ネジタイプ：M4 x 8
  - ネジの最大長：8 mm



**注：**

- 本機を熱源の近くに設置しないでください。
- 天井と床の間は 10 cm 程度の間隙を確保してください。

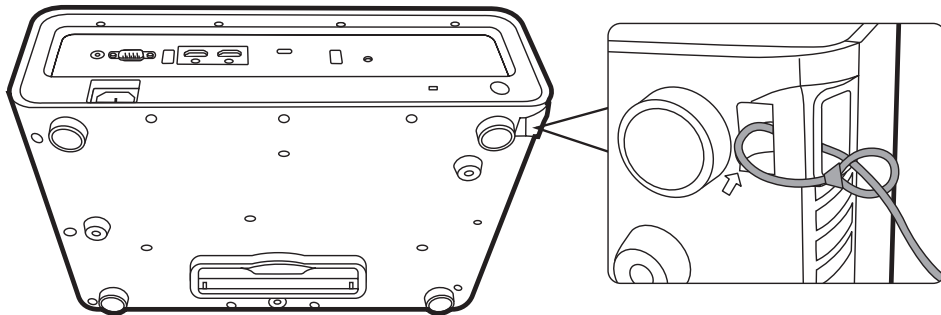
## 不正使用の禁止

本機には盗難、不正使用、誤設定を防止するための機能がいくつか搭載されています。

### セキュリティスロットの使い方

本機を盗難から守るために、本機を動かないものに固定するセキュリティスロットをお使いください。

以下に、製品ロック用セキュリティスロットの設定例を紹介します。



**注：**本機を天井に取り付けてある場合、セキュリティスロットは安全のための固定機能として使用することができます。

## パスワード機能を使う

不正アクセスや不正使用を防止するために、本機にはパスワードオプションが搭載されています。パスワードはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで設定します。

**注：**パスワードは書き留めておいて、安全な場所に保管しておいてください。

## パスワードの設定




1. MENU または ⚙️ を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定** を選択して ENTER/OK を押します。
2. **電源ロック** をハイライトし、◀/▶ を使って **オン** を選択します。
3. 右図に示す通り、4 つの矢印キー (▲、▶、▼、◀) はそれぞれ 4 つの数字 (1、2、3、4) を示しています。矢印キーを使って 6 桁のパスワードを設定してください。



4. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。パスワードの設定が完了すると、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューは **セキュリティ設定** ページに戻ります。
5. EXIT または ⚙️ を押して OSD メニューを閉じます。



**注：**パスワードを設定した後は、本機を起動する度に正しいパスワードを入力する必要があります。

## パスワードの変更

1. MENU または  を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定 > パスワードの変更**を選択します。
2. ENTER/OK を押すと、「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。
3. 古いパスワードを入力してください。
  - ℳ パスワードが正しければ、「新しいパスワード」というメッセージが表示されます。
  - ℳ パスワードを正しく入力しなければ、5 秒間パスワード エラーメッセージが表示され、続いて「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。入力し直してください。キャンセルする場合は **EXIT** または  を押します。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
6. OSD メニューを終了するには、**EXIT** または  を押します。

**注：**入力した数字は画面上にはアスタリスク (\*) で表示されます。

## パスワード機能を無効にする

1. MENU または  を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定 > 電源ロック**を選択します。
2. ◀/▶ を使って**オフ**を選択します。
3. すると「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。
  - ℳ パスワードが正しく入力された場合は、**電源ロック**の欄が「**オフ**」の状態にパスワードページに戻ります。
  - ℳ パスワードを正しく入力しなければ、5 秒間パスワード エラーメッセージが表示され、続いて「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。入力し直してください。キャンセルする場合は **EXIT** または  を押します。

**注：**古いパスワードは、パスワード機能を再度有効にするときに必要ですので記録しておいてください。

## パスワードを忘れた場合

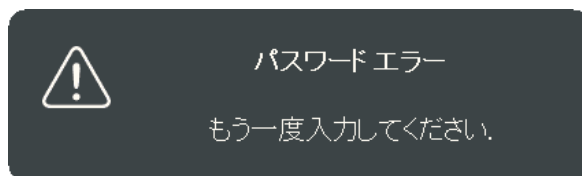
パスワード機能を有効にすると、プロジェクターをオンにするたびに6桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、右図のようなパスワードエラーメッセージが5秒間表示され、次に「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。

やり直すことができます。パスワードを忘れた場合は、「パスワード呼び出し手順」を行ってください。

**注：**パスワード入力を続けて5回間違えると、本機は間もなく自動的にシャットダウンします。

## パスワード呼び出し手順


1. 「現在のパスワード」というメッセージが表示されたら、3秒間 **ENTER/OK** を押し続けてください。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。
2. 番号を書き留めて、プロジェクターをオフにしてください。
3. 番号をデコードするには、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクターを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。



## コントロールキーをロックする

プロジェクターのコントロールキーをロックしておくことで、（例えばお子様によって）本機の設定が誤って変更されるのを防止することができます。

**注：**コントロールボタンロックがオンになっているときには、本機のコントロールキーは電源を除き、どれも作動しません。

1. **MENU** または  を押して OSD メニューを開き、**システム > コントロールボタンロック** を選択します。
2. **▲/▼** を押して **オン** を選択します。
3. **はい** を選択して、**ENTER/OK** を押して確定します。
4. パネルキーロックを解除するには、プロジェクターの **▶** を 3 秒間押し続けます。

**注：**リモコンを使って **システム > コントロールボタンロック** メニューに入り、**オフ** を選択します。

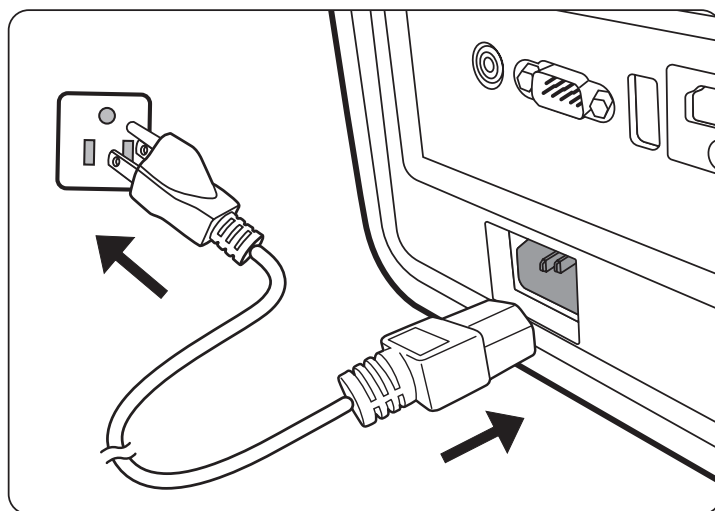


# 接続

ここでは、本機と他の装置の接続方法について説明します。

## 電源に繋ぐ

1. 本機の背面にある AC IN ジャックに電源コードを接続します。
2. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



**注：** 本体を取り付ける際は、プラグが外してあるデバイスを固定配線に接続するか、または本体の近くにあり容易に手の届く場所にあるコンセントに接続してください。本体操作時にエラーが発生した場合は、コンセントから抜いたデバイス进行操作して電源をオフにするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

# ビデオ/コンピューターソースに接続する

## HDMI 接続

HDMI ケーブルをビデオ/コンピューターデバイスの HDMI ポートに接続します。ケーブルのもう片端を本体の **HDMI** ポートに接続します。

## USB C 接続

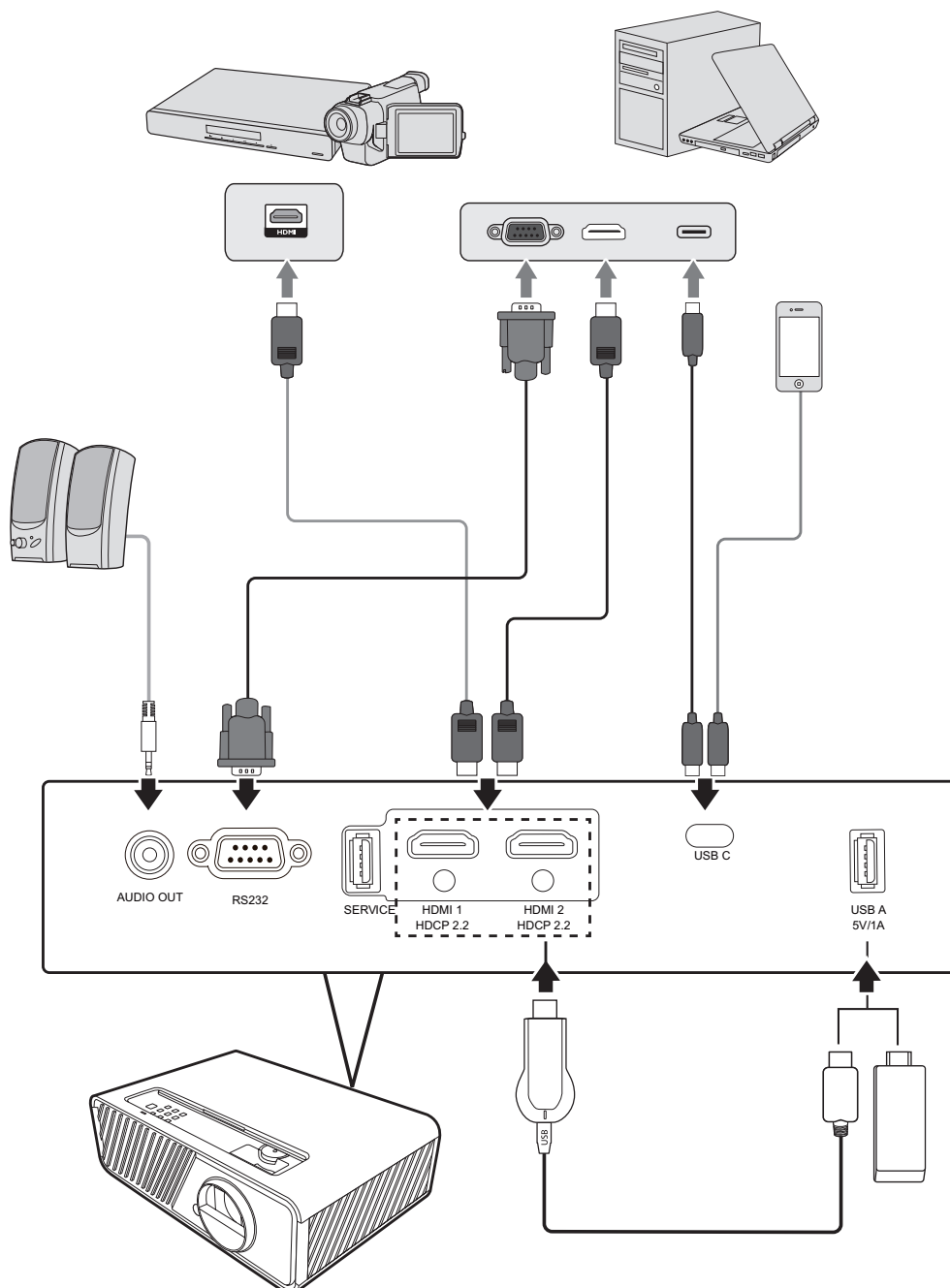
USB C ケーブルをビデオ/コンピューターデバイスの USB C ポートに接続します。ケーブルのもう片端を本体の **USB C** ポートに接続します。

## オーディオ接続

本機にはスピーカーが搭載されていますが、外部スピーカーを本機の **AUDIO OUT** ポートに接続することもできます。

**注：**オーディオ出力は、リモコンと本機の**音量**と**ミュート**設定で調整します。

下の接続図は参照用です。プロジェクターにある接続ジャックは、プロジェクターのモデル毎に異なります。本機には含まれないケーブルもあります。含まれないケーブルは、家電ショップでご購入ください。



# 操作

## プロジェクターの電源をオン/オフにする

### プロジェクターの起動

1. 本機の電源を入れるには、**電源ボタン**を押します。
2. 光源が点灯し、「**電源オン/オフお知らせ音**」が鳴ります。
3. 本機がオンになると、電源インジケータが緑色に点灯します。

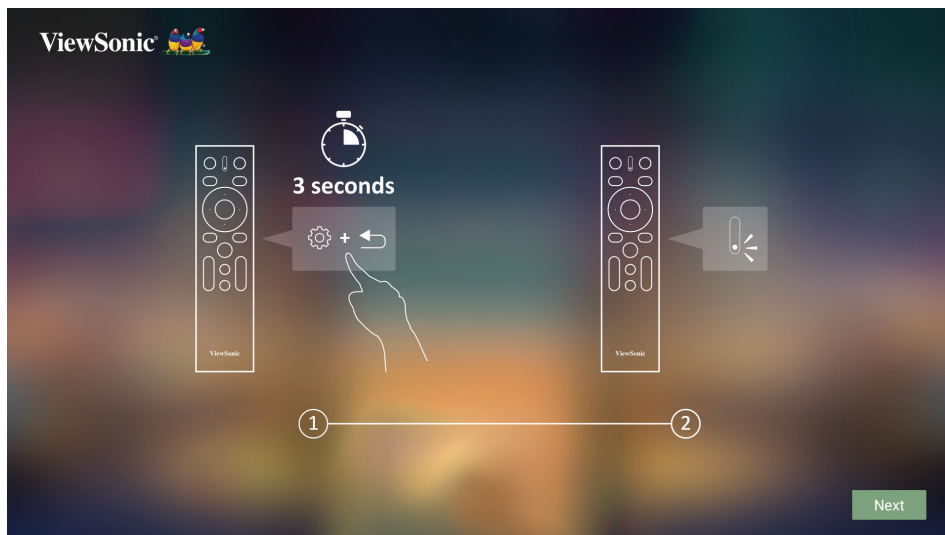
#### 注：

- 本機が前回使用したときから完全に冷め切っていない場合は、光源に電力が供給されるまで約 90 秒間冷却ファンが作動します。
  - 光源の寿命を延長するには、本機の電源を入れた後は 5 分間待ってから電源を切ってください。
4. ノートブックなど、接続した装置をオンにすると、本機が起動して入力源の検出を開始します。

**注：**本機が入力源を検出すると、ソース選択バーが表示されます。入力源が検出されない場合は、「信号なし」というメッセージが表示されます。

### 初回アクティベーション

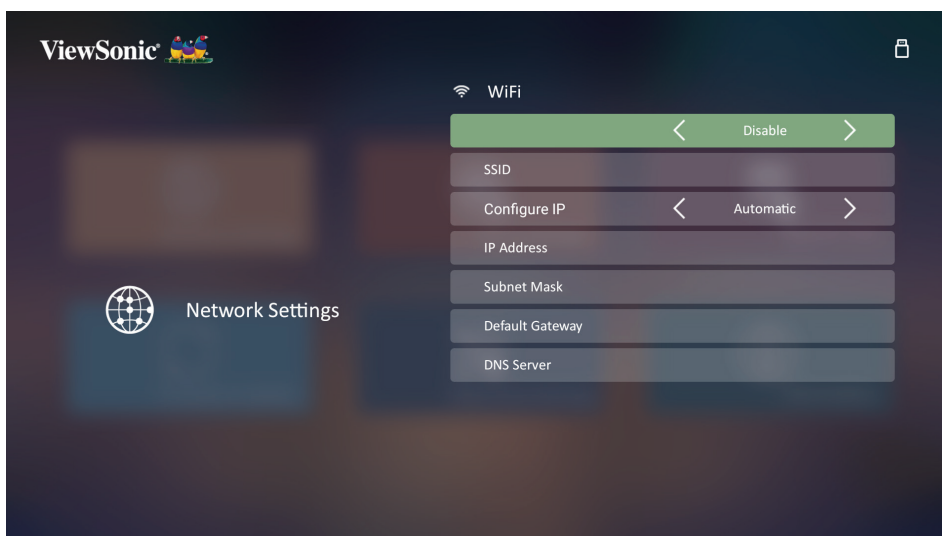
初めて本機を起動する場合は、Bluetooth のリモコンをペアリングして、画面の指示に従ってプロジェクターの位置、WiFi 設定、OSD 言語を選択してください。





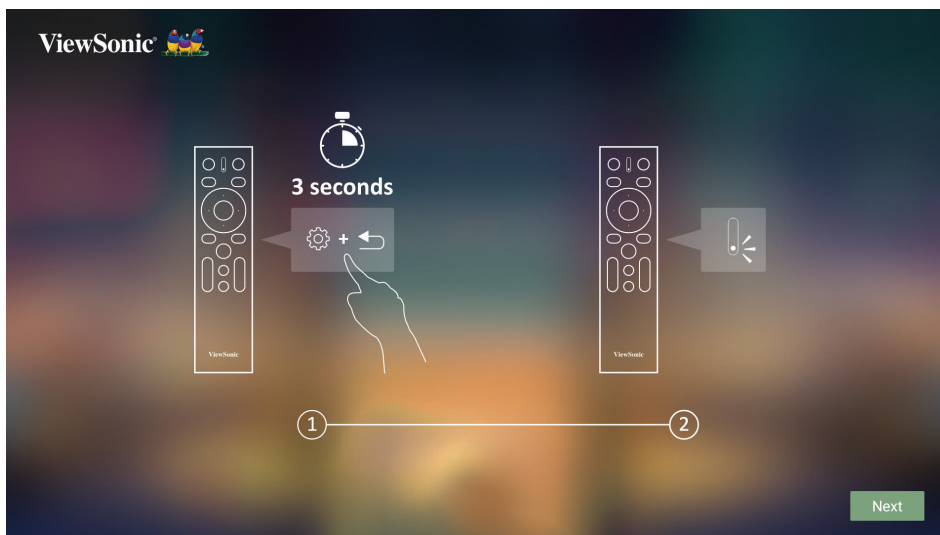
## WiFi 設定

1. 初めてプロジェクターを有効にする場合は、接続したいネットワークの名前を直接選択して、セットアップウィザードから WiFi 設定ページを開き、パスワードを入力してください。

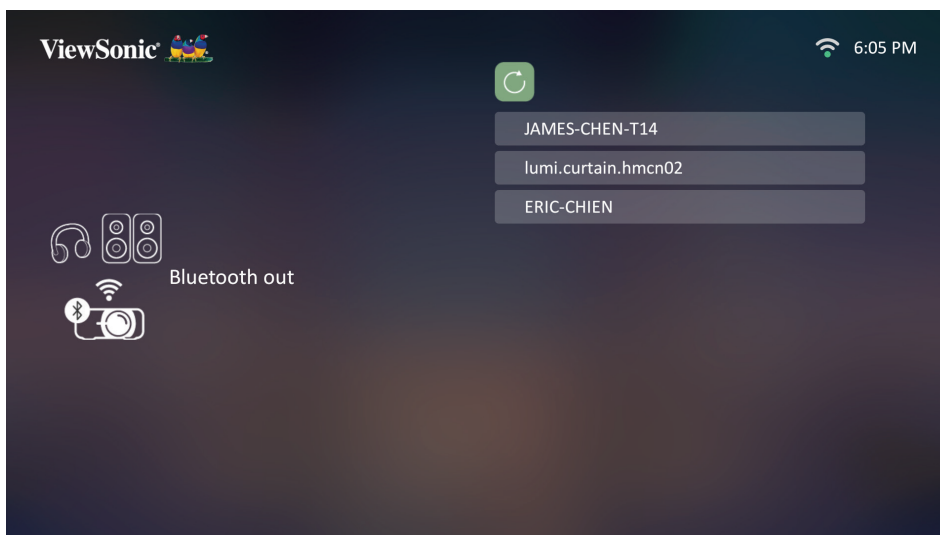


## Bluetooth のリモコン設定

1. プロジェクターを初めて起動するとき、セットアップウィザードの図を参考に、リモコンとプロジェクターをペアリングします。
  - リモコンのインジケータが青く点滅するまで ⚙️ と ⏪ を同時に押し続けます。
  - ペアリングが完了したら、メッセージが表示されます。



2. または、Bluetooth Out (Bluetooth 出力) ページでこれらをペアリングすることもできます。
  - リモコンのインジケータが青く点滅するまで ⚙️ と ⏪ を同時に押し続けます。
  - デバイス名「VIEWSONIC」を選択します。



**注：**ViewSonic X1-4K/X2-4K の付属のリモコンは、Bluetooth にも赤外線モードにも対応しています。リモコンのインジケータが赤く点灯すると、リモコンおよびプロジェクターは赤外線モードになります。リモコンがプロジェクターと Bluetooth 接続でペアリングされているとき、リモコンのボタンとインジケータが青く点灯します。

## プロジェクターをシャットダウンする

1. **電源**または**オフ**ボタンを押すと、**電源**または**オフ**ボタンを再度押すよう促す確認メッセージが表示されます。また、他のボタンをどれでも押すと操作がキャンセルされます。

**注：**最初に押してから数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。

2. 冷却処理が完了したら、「**電源オン/オフお知らせ音**」が鳴ります。
3. 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。

### **注：**

- 光源を保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクターはいかなるコマンドにも反応しません。
- 本機のシャットダウンが完了するまでは、電源コードを抜かないでください。

## 入力源の選択

本機には同時に複数の装置を接続することができます。ただし一度に表示できる装置は1台です。

本機に自動的に入力源を検出させるには、システムメニューで**クイック自動検索**機能が**オン**になっているか確認してください。

**注：**入力源が検出されないときには、プロジェクターは**スマートシステム**に入ります。



入力源を手動で選択するには、次の手順に従ってください。

1. **SOURCE** または  を押すと、ソース選択メニューが表示されます。
2. 任意の信号が選択されるまで **▲/▼** を押し、次に **ENTER/OK** を押します。
3. 信号が検出されたら、選択したソース情報が画面に数秒間表示されます。

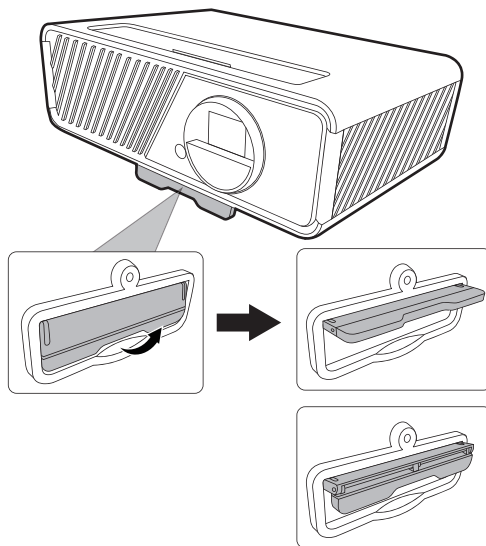
**注：**本機に複数のデバイスが接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。



# 投写画像の調整

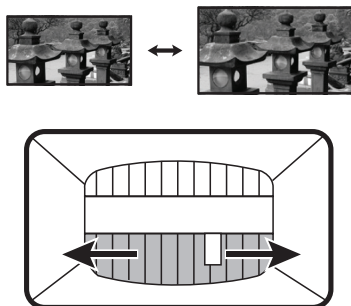
## 高さと投写角度の調整

本機には高さ調整用脚が1個付いています。高さ調整用脚を調節すると、本機の高さと縦投写角度も変わります。投写画像の位置を調整するためには、高さ調整用脚をゆっくりと調整します。

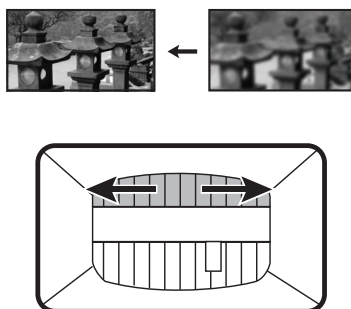


## 画像サイズと明瞭さの微調整

投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。



画像の明瞭さを調整するには、フォーカスリングを使用します。

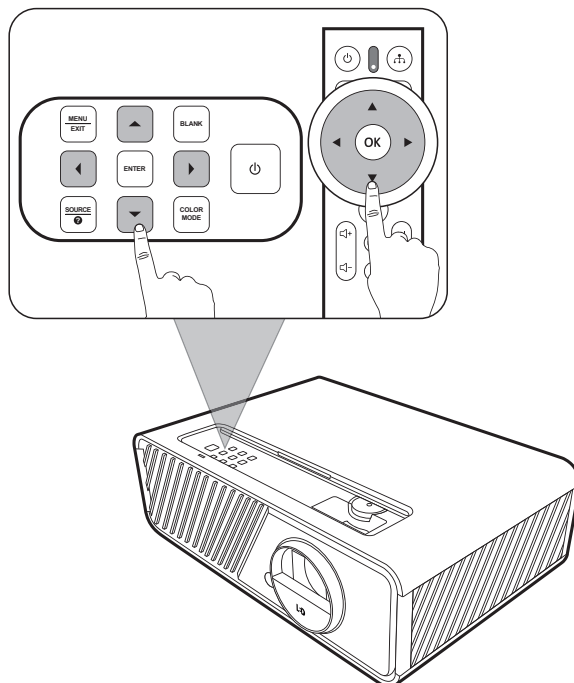
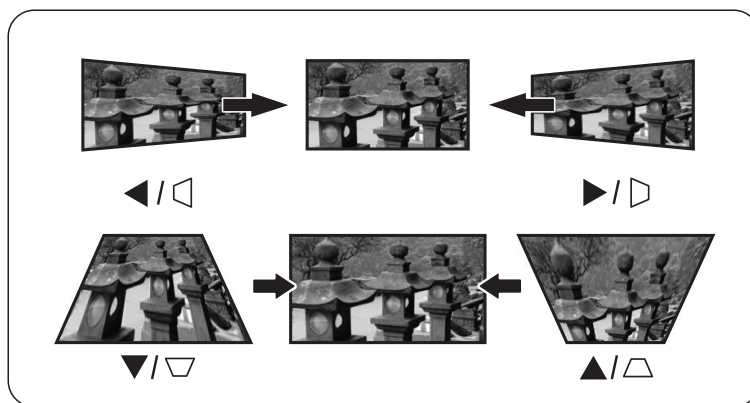


## 台形補正

台形補正とは、まっすぐに投写されなかったために、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまいう状態のことです。

これを修正するには、本機の高さを調整するほか、次のいずれかを行うこともできます。

1. 台形補正ページを表示するには、本機またはリモコンの◀左/▶右/▲上/▼下キーを使います（入力源がスマートシステムでないとき）。
2. 台形補正ページが表示されたら、▲上を押して画像上部の台形歪みが補正されます。▼下を押すと、画像の下部の台形歪みが補正されます。▶右を押すと、画像の右側の台形歪みが補正されます。◀左を押すと、画像の左側の台形歪みが補正されます。



## 4 隅の調整

すべての辺が均等でない画像の形状とサイズを手動で調整することができます。

1. **四隅の調整**ページを開くには、次のいずれかの方法があります。

- **ENTER/OK**を押します（入力源が**スマートシステム**でないとき）。
- OSDメニューを開き、**表示 > 四隅の調整**メニューを選択して**Enter**を押します。すると、**四隅の調整**ページが表示されます。

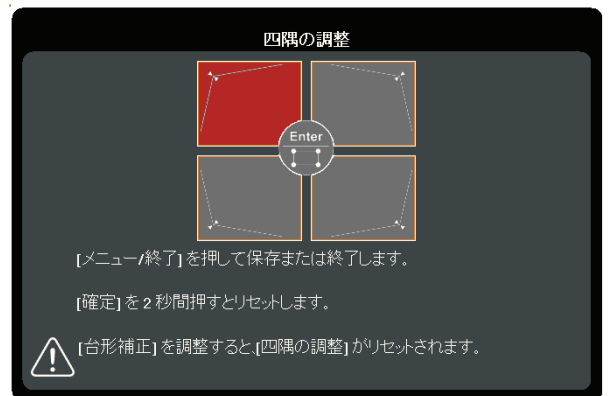
2. **▲/▼/◀/▶**を使って調整したい角を選択し、**ENTER/OK**を押します。

3. **◀/▶**を押して用途に応じた調整方法を選択し、**ENTER/OK**を押します。

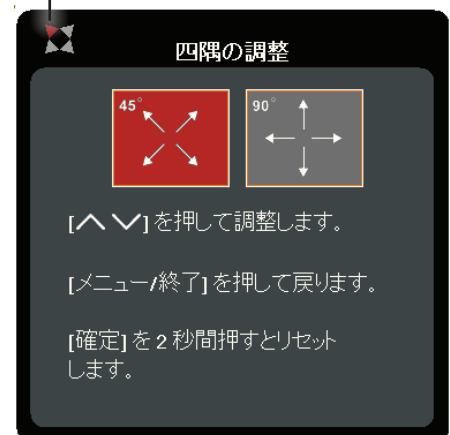
4. スクリーンに示されたとおり（45度に調整するには**▲/▼**、90度に調整するには**▲/▼/◀/▶**）、**▲/▼/◀/▶**を押すと形状とサイズが調整されます。**Exit**または $\odot$ を押すと、前のステップに戻ります。**ENTER/OK**を2秒間長押しすると、選択したい角の設定がリセットされます。

**注：**

- 台形補正を行うと、**四隅の調整**設定がリセットされます。
- **四隅の調整**設定を調整した後は、アスペクト比またはタイミングが使用できなくなる場合があります。その場合は、4隅全部の設定をリセットしてください。



選択した角が示されます。



## 画像を隠す

プロジェクターの**BLANK**を押すとスクリーンの画像が消えるため、聴衆の関心をすべて講演者に向けることができます。プロジェクターまたはリモコンのキーをどれでも押すと、画像を再開することができます。


**注意：** 投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し変形したり、火災の原因となり危険です。

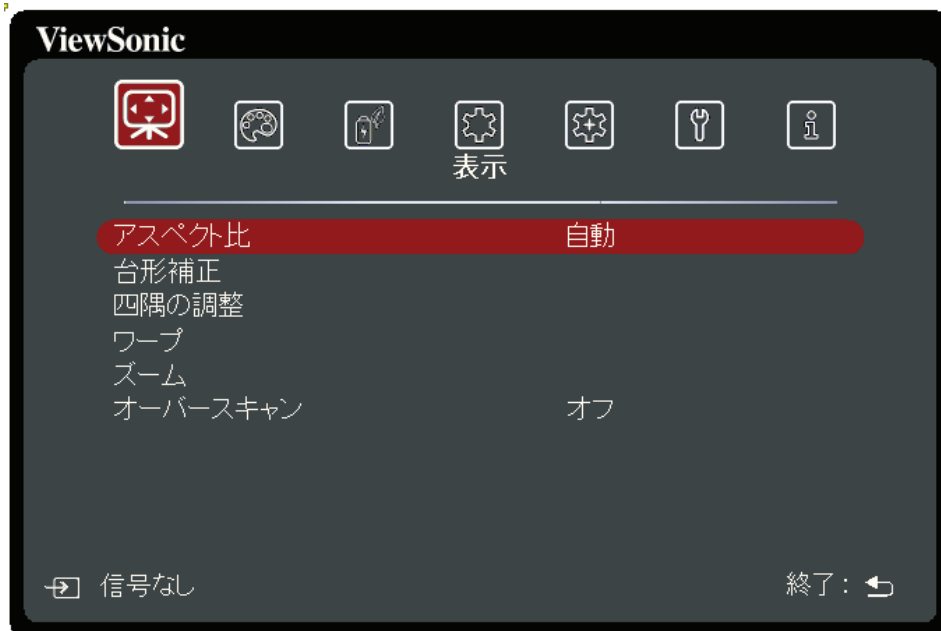
# メニュー機能









ここでは、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューとそのオプションについて説明します。

## 一般的なオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの操作

**注：**本書に掲載される OSD のスクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。次の OSD 設定の一部はご使用いただけない場合があります。プロジェクターの OSD をご参照ください。

本機には各種調整や設定が行える、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが備わっています。プロジェクターからリモコンの **MENU** または  を押すと表示されます。



1. / を押して、メインメニューを選択します。次に、**ENTER/OK** を押すか、/ を使ってサブメニューリストを開きます。
2. / を押して、メニュー項目を選択します。次に、**ENTER/OK** を押してそのサブメニューを表示します。または、/ を押して設定を調整/選択します。

**注：**サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**ENTER/OK** を押します。設定を調整/選択するには、/ または / を使います。

# オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー構造

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
表示	アスペクト比	自動		
		4:3		
		16:9		
		16:10		
		2.35:1		
		ネイティブ		
	台形補正	自動垂直台形補正	オフ / オン	
		手動	垂直	
			水平	
			回転	
	四隅の調整	右上		
		左上		
		右下		
		左下		
	ワープ	有効	オフ / オン	
		操作方式	OSD	
			RS232	
ワープ調整				
リセット				
ズーム	0.8X ~2.0X			
オーバースキャン	オフ /1/2/3/4/5			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
画像	カラーモード	明るい	
		TV	
		ゲーム	
		映画	
		ユーザー設定	
		低ブルーライト	
	輝度	0~100	
	コントラスト	-50~50	
	色温度	9300K/7500K/6500K	
		赤ゲイン	0~100
		緑ゲイン	0~100
		青ゲイン	0~100
		赤オフセット	-50~+50
		緑オフセット	-50~+50
		青オフセット	-50~+50
	詳細設定	色	-50~50
		シャープネス	0~31
		ガンマ調整	1.8/2.0/2.2/2.35/2.5/ Cubic/sRGB
		カラーマネージメント	原色
			色相
		彩度	
		ゲイン	
	サイレンスモード	オン	
		オフ	
	カラー設定をリセット	リセット	
		キャンセル	






メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
電源管理	自動電源オン	信号	無効 / 有効	
		CEC	無効 / 有効	
		ダイレクト電源オン	無効 / 有効	
	スマートエネルギー	オートパワーオフ	無効 / 10分 / 20分 / 30分	
		スリープタイマー	無効 / 30分 / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間 / 8時間 / 12時間	
		省電力モード	無効 / 有効	
	電源オン時ソース	無効 / HDMI 1/HDMI 2/USB C		
基本設定	オーディオ設定	オーディオモード	音楽 / スピーチ / 映画	
		ミュート	オフ / オン	
		音量	0~20	
		電源オン / オフお知らせ音	オフ / オン	
	プレゼンテーションタイマー	タイマーの時間	1~240分	
		タイマー表示	常に使用する / 1分 / 2分 / 3分 / 常に使用しない	
		タイマーの位置	左上 / 左下 / 右上 / 右下	
		タイマーのカウント方法	減少 / 増加	
		サウンドによる通知	オフ / オン	
		カウント開始 / オフ		
		パターン	オフ	
	テストカード			
	メッセージ	オフ		
		オン		
	起動画面	黒		
		青		
		ViewSonic		

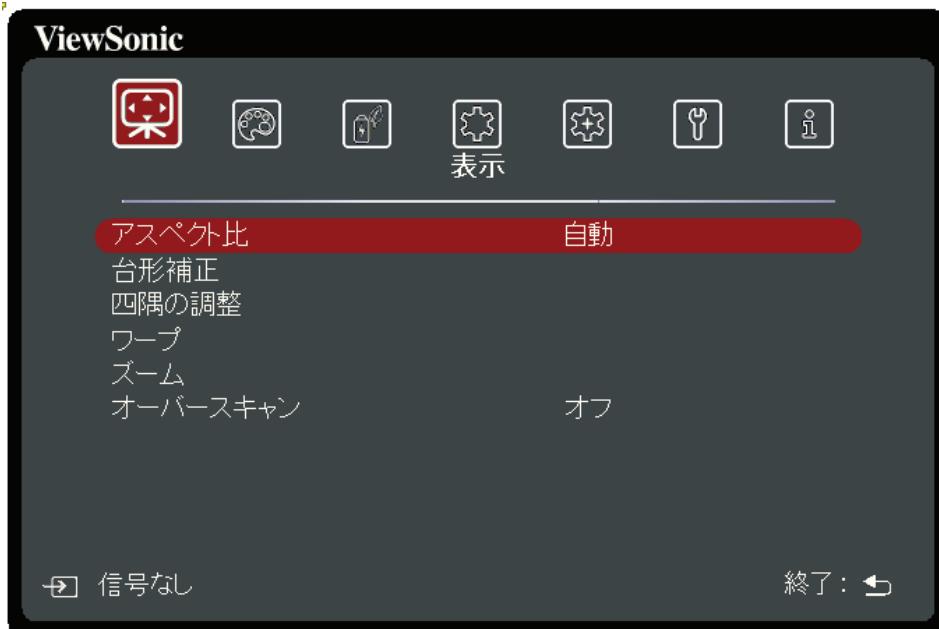
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
詳細設定	HDR	HDR/HLG	自動 /SDR	
		EOTF	低 / 中 / 高	
	3D 設定	3D フォーマット	自動	
			オフ	
			フレームシーケンシャル	
			フレームパッキング	
			トップアンドボトム	
			サイドバイサイド	
		3D 逆同期	無効 / 逆転	
	3D 設定を保存	はい / いいえ		
	HDMI 設定	HDMI フォーマット	自動 /RGB/YUV	
		HDMI 範囲	自動/拡張/ノーマル	
	Ultra Fast Input	キャンセル		
		有効		
	光源の設定	光源モード	ノーマル /Eco/ ダイナミック ブラック 1/ ダイナミック ブラック 2/ カスタム	
			光源の電源	20%~100%
			光源時間をリセット	リセット/キャンセル
			光源時間情報	光源使用時間
		ノーマル		
		Eco		
		ダイナミック ブラック 1		
		ダイナミック ブラック 2		
	カスタム			
スマートシステムを再起動	リセット			
	キャンセル			
設定をリセット	リセット			
	キャンセル			











メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
システム	言語選択	多言語 OSD 選択		
	プロジェクター の設置場所	フロント投映		
		リア投映		
		天吊背面		
		天吊正面		
	メニュー設定	メニュー表示時間	5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒	
		メニュー位置	中央 / 左上 / 右上 / 左下 / 右下	
	高地モード	オフ		
		オン		
	クイック自動 検索	オフ		
		オン		
	セキュリティ 設定	パスワードの変更	オフ / オン	
		電源ロック		
	コントロール ボタンロック	オフ		
オン				
操作方式	RS232			
	Service			
ボーレート	2400/4800/9600/14400/19200/38400/ 57600/115200			
インフォ メーション	ソース			
	カラーモード			
	解像度			
	カラーシステム			
	ファームウェア バージョン			
	Ultra Fast Input			
	シリアル番号			

## 表示メニュー

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **MENU** または  を押します。
2. / を押して、**表示**メニューを選択します。次に、**ENTER/OK** を押すか、/ を使って**表示**を開きます。








3. / を押して、メニュー項目を選択します。次に、**ENTER/OK** を押してそのサブメニューを表示します。または、/ を押して設定を調整/選択します。

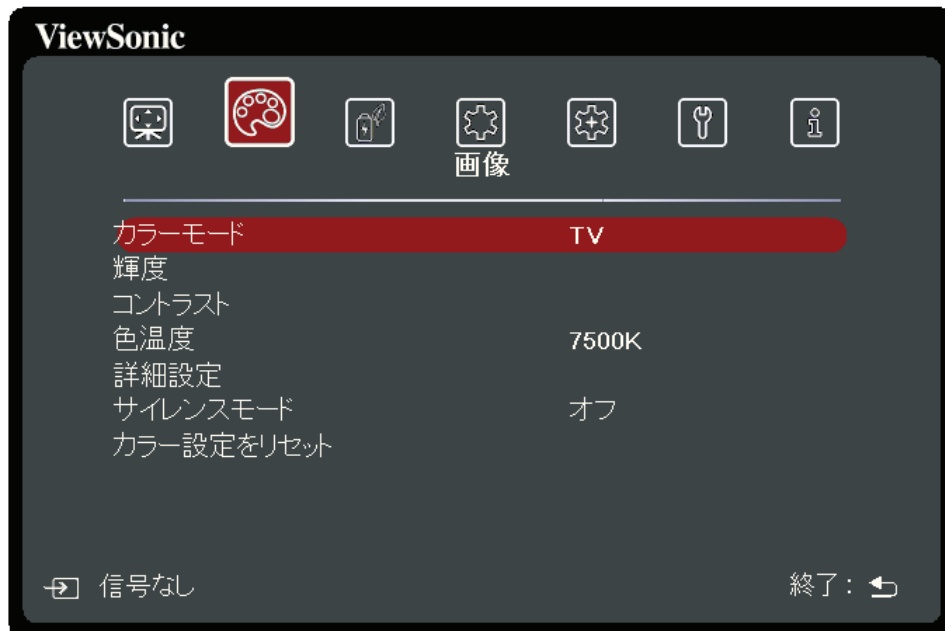
**注：**サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**ENTER/OK** を押します。設定を調整/選択するには、/ または / を使います。









メニューオプション	説明
アスペクト比	<p><u>自動</u>            イメージを本機本来の解像度の水平幅に合わせて表示します。これは入力イメージが 4:3 でも 16:9 でもなく、画像の縦横比を変えずにスクリーンを有効に活用したいときに便利です。</p> <p><u>4:3</u>            スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更せずにするため、ある種のコンピューターモニター、標準精度の TV、縦横比 4:3 の DVD ムービーなどの 4:3 イメージに適しています。</p> <p><u>16:9</u>            スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。この設定は、縦横比を変更する必要がないため高精度 TV など、すでに縦横比が 16:9 になっているイメージに適しています。</p> <p><u>16:10</u>            スクリーンの中央が 16:10 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更する必要のない、縦横比 16:10 の画像に適しています。</p> <p><u>2.35:1</u>            画像の縦横比を維持しながら、スクリーンの中心が 2.35:1 になるように画像を調整します。</p> <p><u>ネイティブ</u>            イメージはその本来の解像度で投写され、表示エリアに合わせてリサイズされます。低解像度の入力信号の場合は、投写画像が本来のサイズで表示されます。</p>
台形補正	<p>台形補正とは、まっすぐに投写されなかったために、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまいう状態のことです。</p>
四隅の調整	<p>すべての辺が均等でない画像の形状とサイズを調整します。</p>


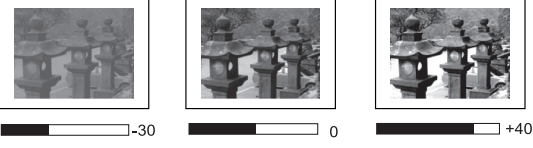
メニューオプション	説明
ワープ	<p>この機能は、円柱や球体など不均等な面に映像を写すとき、プロジェクター映像の幾何学的歪みを構成します。</p> <p><u>有効</u> 台形補正および四隅の調整は、ワープが有効になっているときには使用できません。</p> <p><u>操作方式</u> ワープ調整の制御方法を選択できます。</p> <p><u>ワープ調整</u> この機能は、オンがワープ&gt;有効メニューで選択されているとき、OSDがワープ&gt;操作方式メニューで選択されている場合に使用することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ▲/▼/◀/▶ を使ってカーソルを調整したいポイントに動かします。</li> <li>2. <b>Enter</b> を押して調整モードに入ります。</li> <li>3. ▲/▼/◀/▶ を使って、x軸とy軸のポイントをシフトさせます。</li> <li>4. <b>MENU</b> を押して調整モードを終了します。</li> <li>5. ステップ1から4を繰り返して、画像が正しく表示されるまで他のポイントも調整します。</li> <li>6. <b>MENU/Exit</b> を押して機能を終了します。</li> </ol> <p><u>リセット</u> ワープメニューの設定を初期値に戻します。</p>
ズーム	投写画像を拡大し、画像内をナビゲートできます。
オーバースキャン	オーバースキャン率を0から5の範囲で調整します。

## 画像メニュー

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **MENU** または  を押します。
2. / を押して、**画像**メニューを選択します。次に、**ENTER/OK** を押すか、/ を使って**画像**を開きます。








3. / を押して、メニュー項目を選択します。次に、**ENTER/OK** を押してそのサブメニューを表示します。または、/ を押して設定を調整/選択します。
- 注：**サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**ENTER/OK** を押します。設定を調整/選択するには、/ または / を使います。





メニューオプション	説明
カラーモード	<p><u>明るい</u> 画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（本機を明るい部屋で使用する場合など）。</p> <p><u>TV</u> 明るい照明の中でのスポーツ観戦向けに最適化されています。</p> <p><u>ゲーム</u> 明るいリビングでビデオゲームを楽しむのに最適です。</p> <p><u>映画</u> このモードはやや暗めの部屋で、PC入力を介してデジタルカメラやDVからカラームービーやビデオクリップを再生するのに適しています。</p> <p><u>ユーザー設定</u> カスタマイズした設定を呼び出します。ユーザー設定/低ブルーライトを選択した後は、選択した入力信号に応じて<b>画像</b>メニューの中の一部のサブメニューを調整できるようになります。</p> <p><u>低ブルーライト</u> 人体に有害なブルーライトの放出を低減します。</p>
輝度	<p>値を高くするほどイメージの輝度が増加します。このオプションを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。</p> 
コントラスト	<p><b>輝度</b>設定を以前に調整してある場合は、これを使ってピークホワイトレベルを設定します。</p> 
色温度	<p>いくつかのプリセット色温度設定が使用できます（9300K、7500K、6500K）。選択できる設定は、個人環境によって異なります。</p> <p>カスタム色温度を設定するには、次の項目を調整できます。</p> <p><u>赤ゲイン/緑ゲイン/青ゲイン</u> 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。</p> <p><u>赤オフセット/緑オフセット/青オフセット</u> 赤、緑、青の輝度レベルを調整します。</p>





メニューオプション	説明
詳細設定	<p><u>色</u> 設定を下げると、彩度が低くなります。設定が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。</p> <p><u>シャープネス</u> 値を高くすると画像がよりシャープになり、値を下げると画像はソフトなイメージになります。</p> <p><u>ガンマ調整</u> ガンマとは、本機のグレイスケールレベルの輝度レベルのことです。</p> <p><u>カラーマネージメント</u> 重役会議室、レクチャシアター、ホームシアターなど、照明レベルを調整できる場所に設置した場合に限り、カラーマネージメントが必要となります。カラーマネージメントを使用すると、色をより正確に再現するために、より詳細に色を調整することができます。先に原色を選択し、色相、彩度およびゲインで範囲/値を調整します。</p>
サイレンスモード	<p>アコースティックノイズを縮小します。プロジェクターのノイズを消して、非常に静かな環境で観たい映画に適しています。このモードを選択すると、XPRはオフになります（投写画像は自動的に1080p解像度に切り替わります）。</p>
カラー設定をリセット	<p>現在の画像設定を工場出荷時の値に戻します。</p>

## 電源管理メニュー

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **MENU** または  を押します。
2. / を押して、**電源管理**メニューを選択します。次に、**ENTER/OK** を押すか、/ を使って**電源管理**を開きます。








3. / を押して、メニュー項目を選択します。次に、**ENTER/OK** を押してそのサブメニューを表示します。または、/ を押して設定を調整/選択します。

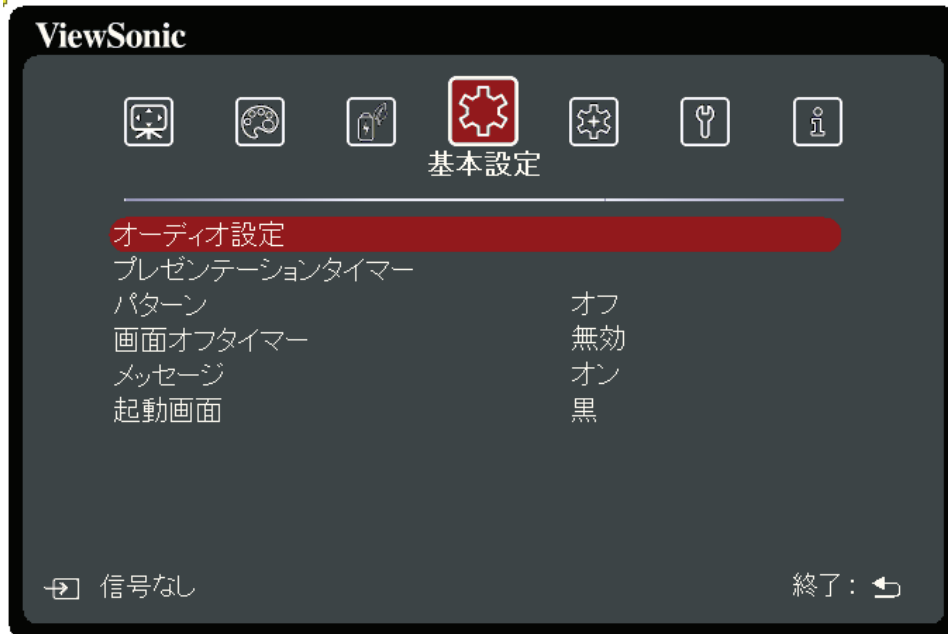
**注：**サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**ENTER/OK** を押します。設定を調整/選択するには、/ または / を使います。







メニューオプション	説明
自動電源オン	<p><b>信号</b> HDMI を選択すると、HDMI/USB C ケーブルから HDMI/USB C 信号が入力されると、プロジェクターが自動的にオンになります。</p> <p><b>CEC</b> 本機は、HDMI 接続を介して電源のオン/オフ操作を同期できる CEC (Consumer Electronics Control) 機能に対応しています。つまり、CEC 機能に対応しているデバイスがプロジェクターの HDMI 入力に接続されていると、プロジェクターの電源を切ったときには、接続したデバイスの電源も自動的に切れます。接続してあるデバイスの電源を入れると、本機の電源も自動的に入ります。</p> <p><b>注：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CEC 機能を正常に機能させるには、HDMI ケーブルでデバイスを本機の HDMI 入力に正しく接続すると CEC 機能が有効になります。</li> <li>• 接続したデバイスによっては、CEC 機能が作動しない場合があります。</li> </ul> <p><b>ダイレクト電源オン</b> 電源コードから電源が供給されると、本機は自動的にオンになります。</p>
スマートエネルギー	<p><b>オートパワーオフ</b> 指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、不要に光源の寿命を消耗しないように自動的に本機の電源をオフにします。</p> <p><b>スリープタイマー</b> 指定した時間を経過したら、不要に光源の寿命を消耗しないように自動的に本機の電源をオフにします。</p> <p><b>省電力モード</b> 入力源が検出されなければ、消費電力量は低減されません。有効を選択すると、5 分間信号が検出されなければ本機の光源モードは SuperEco モードに変わります。このことは、光源の寿命を延長するのにも役立ちます。</p>
電源オン時ソース	<p>プロジェクターの電源を入れたあと、直接入力源に入ることができます。</p>

## 基本設定メニュー

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **MENU** または  を押します。
2.  /  を押して、**基本設定**メニューを選択します。次に、**ENTER/OK** を押すか、 /  を使って**基本設定**を開きます。








3.  /  を押して、メニュー項目を選択します。次に、**ENTER/OK** を押してそのサブメニューを表示します。または、 /  を押して設定を調整/選択します。

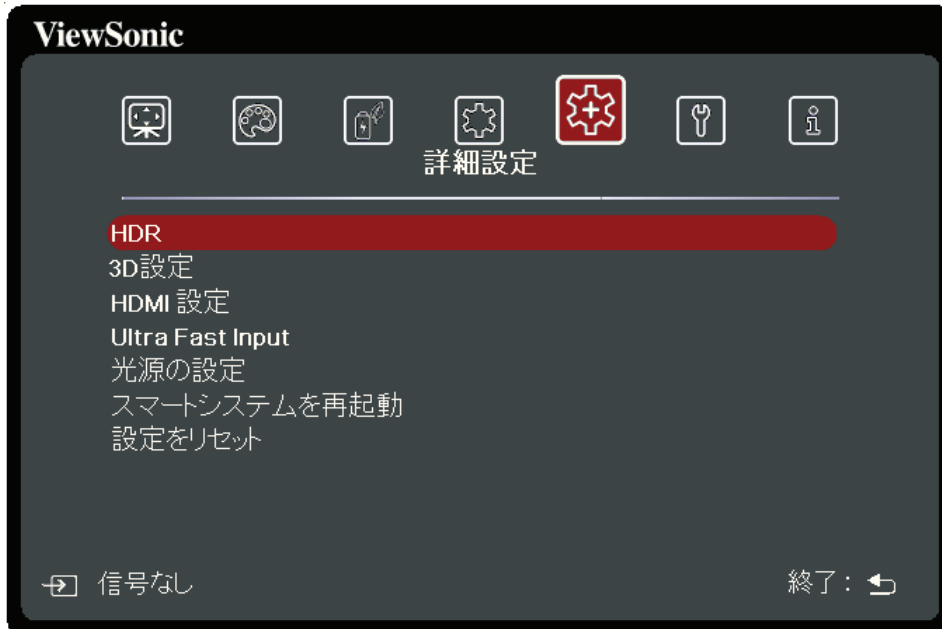
**注：**サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**ENTER/OK** を押します。設定を調整/選択するには、 /  または  /  を使います。









メニューオプション	説明
オーディオ設定	<p><u>オーディオモード</u> オーディオコンテンツに応じて最も合ったオーディオモデルを選択しています。</p> <p><u>ミュート</u> オンを選択すると、プロジェクターの内部スピーカー、またはオーディオ出力端子から出力されるボリュームが一時的にオフになります。</p> <p><u>音量</u> 本機の内部スピーカーの音量レベル、またはオーディオ出力ジャックから出力される音量を調整します。</p> <p><u>電源オン/オフお知らせ音</u> 起動時とシャットダウン時のリングトーンをオン/オフにします。</p>
プレゼンテーションタイマー	<p>プレゼンテーションタイマーはプレゼンテーション時間をスクリーン上に表示して、発表者が上手く時間管理できるようにします。</p> <p><u>タイマーの時間</u> 時間範囲を設定します。すでにタイマーがオンになっている場合は、タイマーの時間をリセットするとタイマーがカウントを新しく開始します。</p> <p><u>タイマー表示</u> 次の時間範囲で画面にタイマーを表示できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>™ 常に使用する：プレゼンテーション中、常にタイマーをスクリーン上に表示します。</li> <li>™ 1分/2分/3分：タイマーを最後の1/2/3分間だけ表示します。</li> <li>™ 常に使用しない：プレゼンテーション中、タイマーを表示しません。</li> </ul> <p><u>タイマーの位置</u> タイマーの位置を設定します。</p> <p><u>タイマーのカウント方法</u> カウントする方向を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>™ 減少：あらかじめ設定した時間から0までカウントダウンします。</li> <li>™ 増加：0からあらかじめ設定した時間までカウントを重ねます。</li> </ul> <p><u>サウンドによる通知</u> サウンドによる通知を有効にします。これを選択すると、カウントダウン/アップが残り30秒になるとビーッという音が2回鳴り、タイムアップすると3回鳴ります。</p> <p><u>カウント開始/オフ</u> カウント開始を選択すると、タイマーが有効になります。オフを選択すると、キャンセルします。</p>

メニューオプション	説明
パターン	画像サイズとフォーカスを調整し、投写画像の歪みをチェックします。
メッセージ	アラームメッセージをオンまたはオフにします。
起動画面	起動時に表示されるロゴ画面をユーザーが選択することができます。

## 詳細設定メニュー

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **MENU** または  を押します。
2. / を押して、**詳細設定**メニューを選択します。次に、**ENTER/OK** を押すか、/ を使って**詳細設定**を開きます。



3. / を押して、メニュー項目を選択します。次に、**ENTER/OK** を押してそのサブメニューを表示します。または、/ を押して設定を調整/選択します。
- 注：**サブメニューオプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**ENTER/OK** を押します。設定を調整/選択するには、/ または / を使います。






メニューオプション	説明
HDR	<p><u>HDR/HLG</u> 本機は、HDR 入力源に対応しています。これは入力源のダイナミックレンジを自動的に検出し、広範囲の照明状況で映像を再現できるように画像ガンマ値およびカラー設定を最適化します。SDR も選択します。</p> <p><u>EOTF</u> プロジェクターは、入力源に応じて映像の輝度レベルを自動調整できます。通常は、デフォルト値「中」を推奨します。投写画像が暗い場合は、「低」を選択してください。グラデーションのプロパティが優先する場合は、「高」を選択してください。</p>
3D 設定	<p>本機には、画像に深みを与えることで 3D ムービー、動画、スポーツイベントをよりリアルにご覧いただける 3D 機能が搭載されています。3D 映像をご覧になるには、3D メガネを着用する必要があります。</p> <p><u>3D フォーマット</u> デフォルト設定は自動で、3D コンテンツが検出された場合は本機が自動的に適切な 3D フォーマットを選択します。本機が 3D フォーマットを識別できない場合は、3D モードを選択してください。</p> <p><u>3D 逆同期</u> 画像の深さが逆転している場合は、この機能を有効にすると問題を解決できます。</p> <p><u>3D 設定を保存</u> 現在の 3D 設定を保存します。同じ解像度と入力源が選択されていれば、3D 設定が自動的に適用されます。</p> <p><b>注：</b> 3D 同期機能がオンのとき：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 投写画像の輝度レベルが下がります。</li> <li>• カラーモード、光源モード、ズーム、オーバースキャンは調整できません。</li> </ul>

メニューオプション	説明
HDMI設定	<p><u>HDMI フォーマット</u>  接続した出力デバイスのカラースペース設定に基づいて、適切なカラースペースを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>™ 自動：入力信号のカラースペース設定が自動的に検出されるようにプロジェクターを設定します。</li> <li>™ RGB：カラースペースを RGB に設定します。</li> <li>™ YUV：カラースペースを YUV に設定します。</li> </ul> <p><u>HDMI 範囲</u>  接続した出力デバイスの色域設定に基づいて、適切な HDMI 色域を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>™ 自動：プロジェクターに入力信号の HDMI 範囲を自動的に検出させます。</li> <li>™ 拡張：HDMI カラー範囲を 0 - 255 として設定します。</li> <li>™ ノーマル：HDMI カラー範囲を 16 - 235 として設定します。</li> </ul>
Ultra Fast Input	<p>この機能は、フレームレートを下げたいときに有効です。ネイティブタイミングでは応答時間が早くなります。有効にすると、次の設定（該当する場合）が初期値に戻されます：アスペクト比、ズーム、オーバースキャン。</p> <p><b>注：</b>この機能は 4K@60Hz, 1440P@60/120Hz および 1080P@60/120/240Hz 入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>









メニューオプション	説明
光源の設定	<p><u>光源モード</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><sup>m</sup> ノーマル：光源を完全に明るくします。</li> <li><sup>m</sup> Eco：光源の電力消費量を最大で 40% も低減し、輝度を下げて光源の寿命を延長させるだけでなく、ファンのノイズも低減させます。</li> <li><sup>m</sup> ダイナミックブラック 1：コンテンツの輝度レベルによっては、電力消費量を最大 70% 節電できます。</li> <li><sup>m</sup> ダイナミックブラック 2：コンテンツの輝度レベルによっては、電力消費量を最大 50% 節電できます。</li> <li><sup>m</sup> カスタム：光源の電力を調整できます。</li> </ul> <p><u>光源の電源</u> 光源モードがカスタムのときにのみ使用できます。</p> <p><u>光源時間をリセット</u> 新しい光源に交換した後は、光源タイマーをリセットします。光源を交換する場合は、専門のサービス担当者にお問い合わせください。</p> <p><u>光源時間情報</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><sup>m</sup> 光源使用時間：光源の使用時間数を表示します。</li> </ul>
スマートシステムを再起動	リセットを選択してすぐにスマートシステムを再起動します。
設定をリセット	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。設定をリセットを使用すると、次の設定は現在の設定値のまま維持されます：ズーム、台形補正、言語選択、プロジェクターの設置場所、高地モード、セキュリティ設定、操作方式、ボーレート、スマートシステム。



## システムメニュー




1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **MENU** または  を押します。
2. / を押して、**システム**メニューを選択します。次に、**ENTER/OK** を押すか、/ を使って**システム**を開きます。



3. / を押して、メニュー項目を選択します。次に、**ENTER/OK** を押してそのサブメニューを表示します。または、/ を押して設定を調整/選択します。  
**注：**サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**ENTER/OK** を押します。設定を調整/選択するには、/ または / を使います。

メニューオプション	説明
言語選択	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。
プロジェクターの設置場所	本機の正しい位置を選択します。
メニュー設定	<p><u>メニュー表示時間</u> 最後に操作が行われてから OSD が表示され続ける時間を設定します。</p> <p><u>メニュー位置</u> OSD メニューの位置を選択します。</p>
高地モード	<p>海拔 1500 m ~ 3000 m、気温 0°C ~ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、高地モードを使用されるようお勧めします。</p> <p><b>注：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0 から 1499 m、気温 0°C ~ 35°C の環境では高地対応モードはご使用にならないでください。このような環境で高地対応モードを使用すると、本機が過冷却されてしまいます。</li> <li>「高地モード」では冷却と性能を高めるために、ファンの回転速度が早くなるためノイズが高くなります。</li> </ul>
クイック自動検索	本機に信号を自動検出させることができます。
セキュリティ設定	詳細は、21 ページの「パスワード機能を使う」を参照してください。
コントロールボタンロック	本機のコントロールキーをロックします。
操作方式	RS232 ポートか USB ポートを介して、好きなコントロールポートを選択できます (Service)。
ボーレート	適切な RS-232 ケーブルを使って本機をコンピューターに接続し、RS-232 コマンドで本機を操作できるように、ボーレートはコンピューターと同じ値に設定してください。

## インフォメーションメニュー

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **MENU** または  を押します。
2.  /  を押してインフォメーションメニューを開くと、その内容が表示されます。



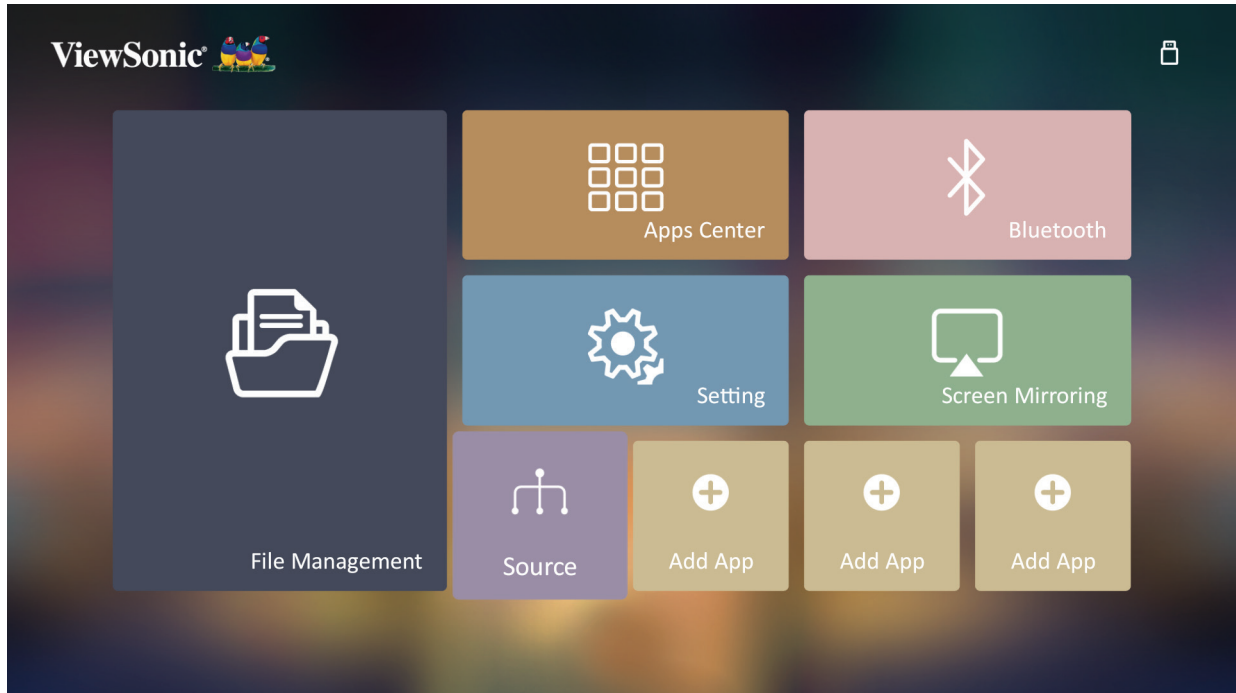
メニューオプション	説明
ソース	現在の入力源を表示します。
カラーモード	画像メニューで選択したモードを表示します。
解像度	入力源のネイティブ解像度を表示します。
カラーシステム	入力システムフォーマットを表示します。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
Ultra Fast Input	機能がアクティブかどうかを表示します。
シリアル番号	プロジェクターのシリアル番号を表示します。

# > スマートシステム

ここでは、スマートシステムについて説明します。

## ホーム画面

ホーム画面はプロジェクターを起動する度に表示されます。ホーム画面をナビゲートするには、リモコンの矢印ボタンを使います。メインのホーム画面には、リモコンのホームボタンを押すと、どのページを表示していてもいつでも戻ることができます。



メニュー	説明
File Management (ファイル管理)	ファイルとフォルダを管理するためのユーザーインターフェイスです。
Apps Center (アプリセンター)	インストールしたすべてのアプリケーションにアクセスしたり、表示したりすることができます。
Bluetooth	適切な Bluetooth モードを選択します。
Setting (設定)	次のような各種カテゴリーを管理できます。 ネットワーク設定、基本設定と詳細設定、日時、ファームウェア更新、システム情報。
Screen Mirroring (画面のミラー化)	パーソナル機器の画面をプロジェクターを介してミラー化します。
Add App (アプリを追加)	好きなアプリを選択して、それらをホーム画面に追加します。

# ホーム画面 - オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー構造

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
File Management (ファイル管理)			
Apps Center (アプリセンター)			
Bluetooth			
Settings (設定)	Network Settings (ネットワーク設定)	Wi-Fi	Disable (無効)
			Enable (有効)
			SSID :
			Configure IP (IP 設定)
			IP Address (IP アドレス)
			Subnet Mask (サブネットマスク)
			Default Gateway (既定のゲートウェイ)
			DNS Server (DNS サーバー)
Settings (設定)	Basic Settings (基本設定)	Language (言語)	多言語 OSD 選択
	Date & time (日時)	Automatic Date & Time (日時の自動設定)	Disable (無効)
			Enable (有効)
		Date (日付)	
		Time (時間)	
		Time Zone (タイムゾーン)	
		Time Format (時間のフォーマット)	12 hours (12時間)
			24 hours (24時間)
	Firmware Upgrade (ファームウェアのアップグレード)	Software Update Online (オンラインソフトウェア更新)	
Software Update By USB (USB でのソフトウェア更新)			
OTA Reminder (OTA リマインダー)		Disable (無効)	
		Enable (有効)	
	Software Version (ソフトウェアバージョン)		

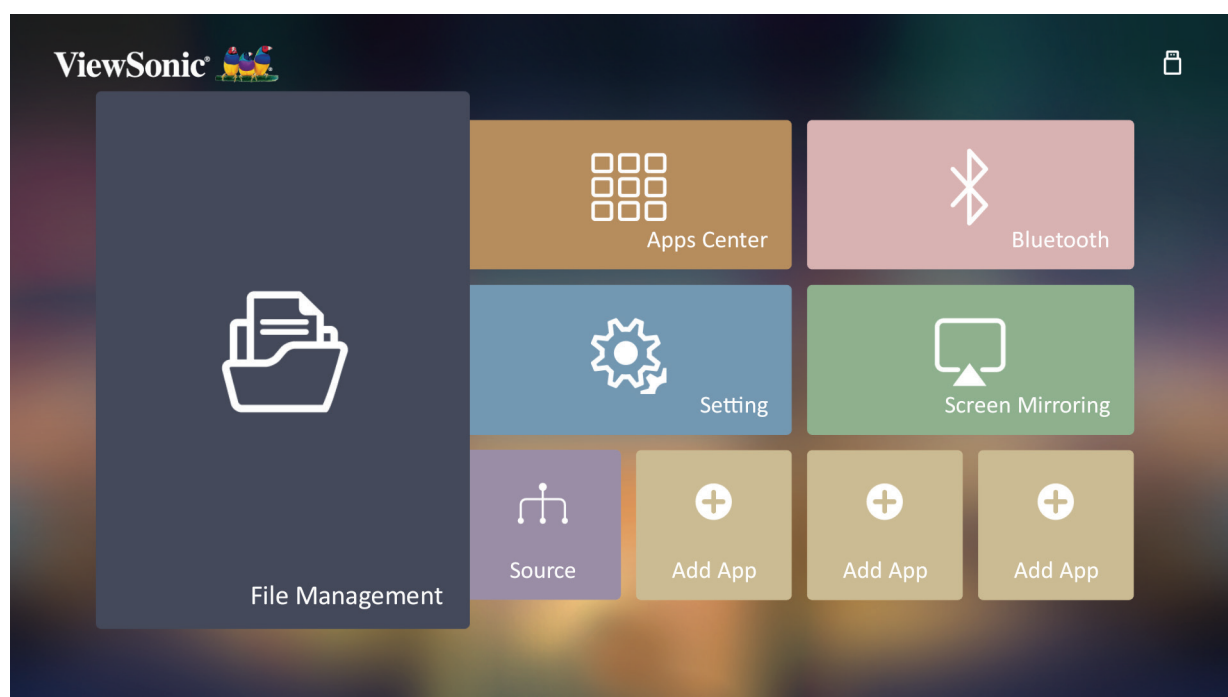
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
	Advanced Settings (詳細設定)	Reset Settings (設定をリセット)	OK
			Cancel (キャンセル)
	Information (インフォメーション)	Reset To Factory Default (オールリセット)	OK
			Cancel (キャンセル)
		System Version (システムバージョン)	
	Memory Information (メモリ情報)		
Wi-Fi Mac address (Wi-Fi Mac アドレス)			
Screen Mirroring (画面のミラー化)			
Add App (アプリを追加)			
Add App (アプリを追加)			
Add App (アプリを追加)			
Add App (アプリを追加)			

# メニューの操作

## File Management（ファイル管理）

ファイルとフォルダを簡単に管理できます。

1. 次の順番で選択します。ホーム > File Management（ファイル管理）。



2. ソースリストからデバイスを選択します。USB、Local Storage（ローカルストレージ）など。矢印ボタンを使ってファイルを選択します。次に、リモコンのOKを押すと選択したファイルが開きます。



3. 前のレベルに戻るには、戻るボタンを押します。

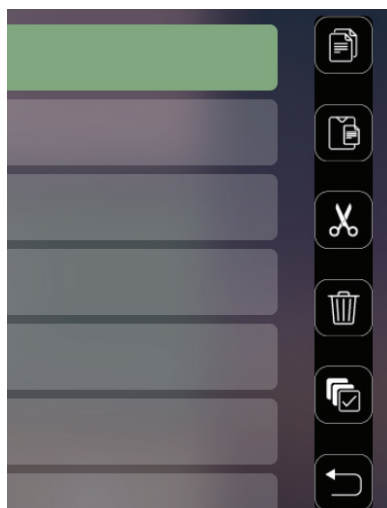
注：リモコンのホームボタンを押すと、ホーム画面に戻ることができます。

## ファイルの編集方法

1. **File Management (ファイル管理)** 画面で **OK** ボタンを 3 秒間押します。
2. それぞれのファイルの左側にチェックボックスが表示されます。矢印ボタンを使って **OK** を押し、ファイルを選択できます (複数選択可)。



3. **右** ボタンを押すと、コピー、貼り付け、切り取り、削除、すべて選択、戻るボックスが表示されます。



4. 操作を選択し、**OK** を押して実行します。
5. ファイルを切り取ったり、コピーしたりする場合は、目的のフォルダを選択して処理を完了してください。



## コントロールバーのボタンの使い方

ビデオ、音楽、ピクチャファイルを開こうとすると、コントロールバーのボタンが画面に表示されます。

ピクチャ		ビデオ		音楽	
	戻る		戻る		戻る
	再生		巻き戻し		再生
	次へ		再生		一時停止
	ズームイン		一時停止		次へ
	ズームアウト		早送り		シャッフル
	回転（左）		次へ		くり返し再生 （すべて）
	回転（右）				1 回リピート
					プレイリスト
					情報

## USB を使用する上でのヒント

USB を使って読み込んだり、保存したりする場合は、次のことにご注意ください。

1. USB ストレージデバイスによっては互換性がない場合があります。
2. USB 延長ケーブルをご使用になると、USB デバイスが認識されない場合があります。
3. Windows FAT32 または NTFS ファイルシステムにフォーマットされた USB ストレージデバイスのみをご使用ください。
4. 大きいファイルは読み込みに時間がかかる場合があります。
5. USB ストレージデバイスに保管したデータが破損したり、失われたりしている場合があります。重要なファイルはバックアップを取ってください。

## 対応ファイル形式

対応 Office 形式：

	アイテム	インジケータ
文書表示機能	doc/docx	doc/docx 文書を開くことができます。
	xls/xlsx	xls/xlsx 文書を開くことができます。
	ppt/pptx	ppt/pptx 文書を開くことができます。
	Pdf	Pdf 文書を開くことができます。
対応するインターフェイスの言語	44か国語のインターフェイスに対応	英語、簡体字中国語、中国語 (TW)、中国語 (HK)、スペイン語 (LA)、フランス語 (EU)、ポルトガル語 (EU)、ポルトガル語 (BR)、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、スウェーデン語、スペイン語 (EU)、韓国語、アラビア語、ペルシア語、セルビア語、ボスニア語、マケドニア語、ブルガリア語、ウクライナ語、ギリシャ語、ノルウェー語、デンマーク語、チェコ語、ハンガリー語、スロバキア語、ポーランド語、ルーマニア語、フィンランド語、エストニア語、ラトビア語、リトアニア語、イギリス英語、スロベニア語、クロアチア語、トルコ語、ベトナム語、バハサ語 インドネシア語、オランダ語、マレー語、タイ語、ヒンディー語、ヘブライ語、ビルマ語、カタロニア語。

対応マルチメディア形式：

拡張子	コーデック	
.avi	ビデオ	H.264、H.265
	オーディオ	MP3
.mp4* .mov	ビデオ	H.264、H.265/MPEG 4
.mkv	ビデオ	H.264、H.265
.ts	ビデオ	H.264、H.265、MPEG2
	オーディオ	MP3
.vob	ビデオ	MPEG1、MPEG2
	オーディオ	DVD-LPCM
.mpg	ビデオ	MPEG1

**注：** 動画解像度3840×2160の動画デコードフォーマットAVC（CABAC/3 Ref Frames）は、MP4では対応されません。

対応画像形式：

フォーマット	タイプ	最大解像度
.jpg/.jpeg	プログレッシブ JPEG	7680 x 4320
	ベースライン JPEG	7680 x 4320
.bmp		9600 x 6400
.png		7680 x 4320

対応する外部接続デバイスの形式：

デバイス	対応サイズ (最大サイズ)	NTFS 形式		FAT32 形式		exFAT	
		読み取り	書き込み	読み取り	書き込み	読み取り	書き込み
USB メモリ スティック	256 GB	√	該当なし	√	√	該当なし	該当なし
USB HDD	2 TB	√	該当なし	√	√	該当なし	該当なし

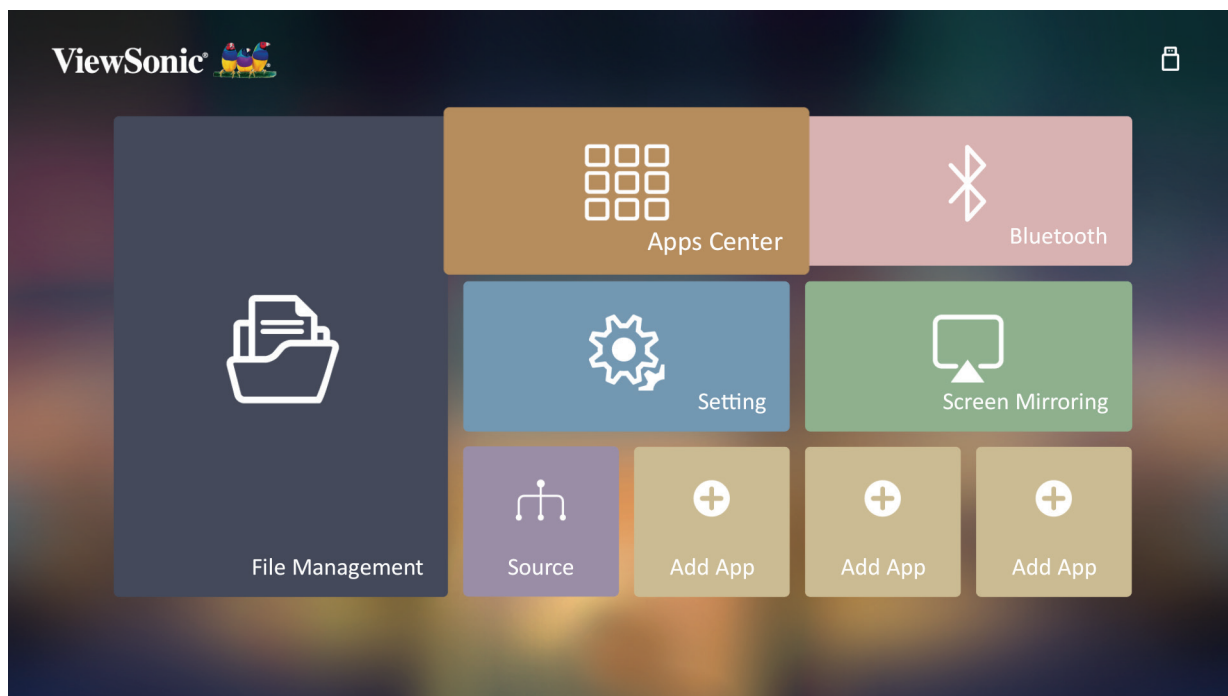
注：

- Windows 10 内蔵のフォーマットツールは、32 GB までの FAT32 フォーマットにしか対応しません。
- ファームウェアのアップグレードは、FAT32 フォーマットにのみ対応します。

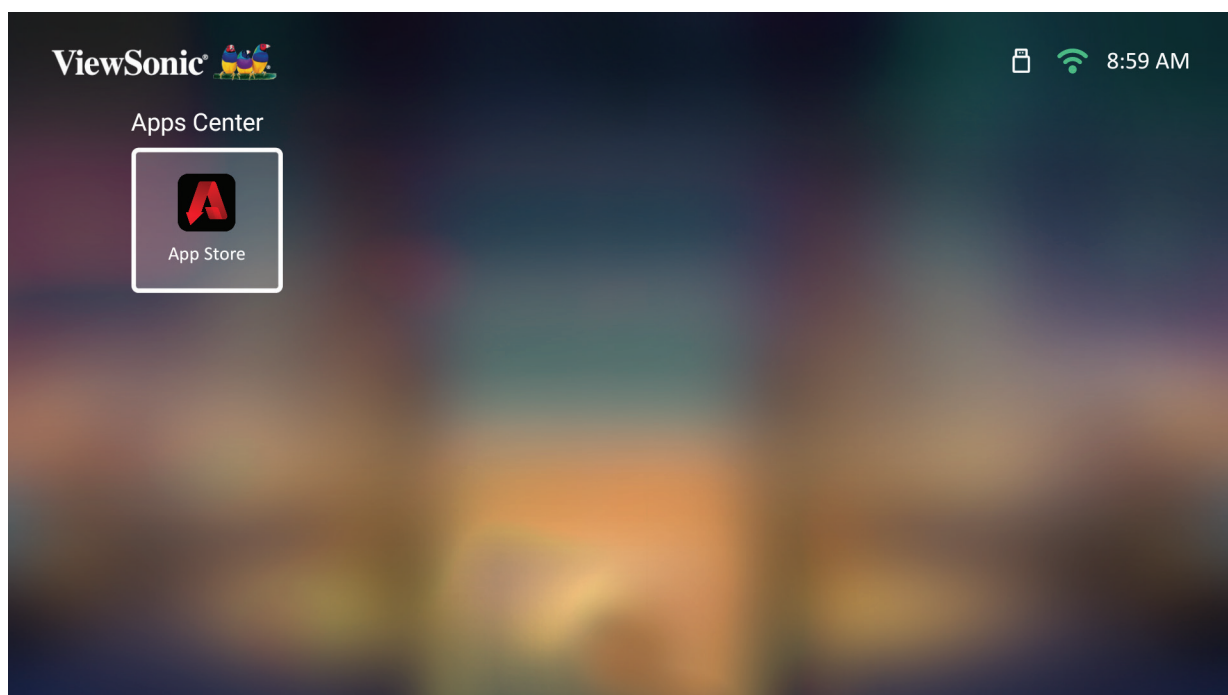
## Apps Center (アプリセンター)

アプリを表示、起動、アンインストールします。

1. アプリを見るには、次を選択します。ホーム > Apps Center (アプリセンター)。



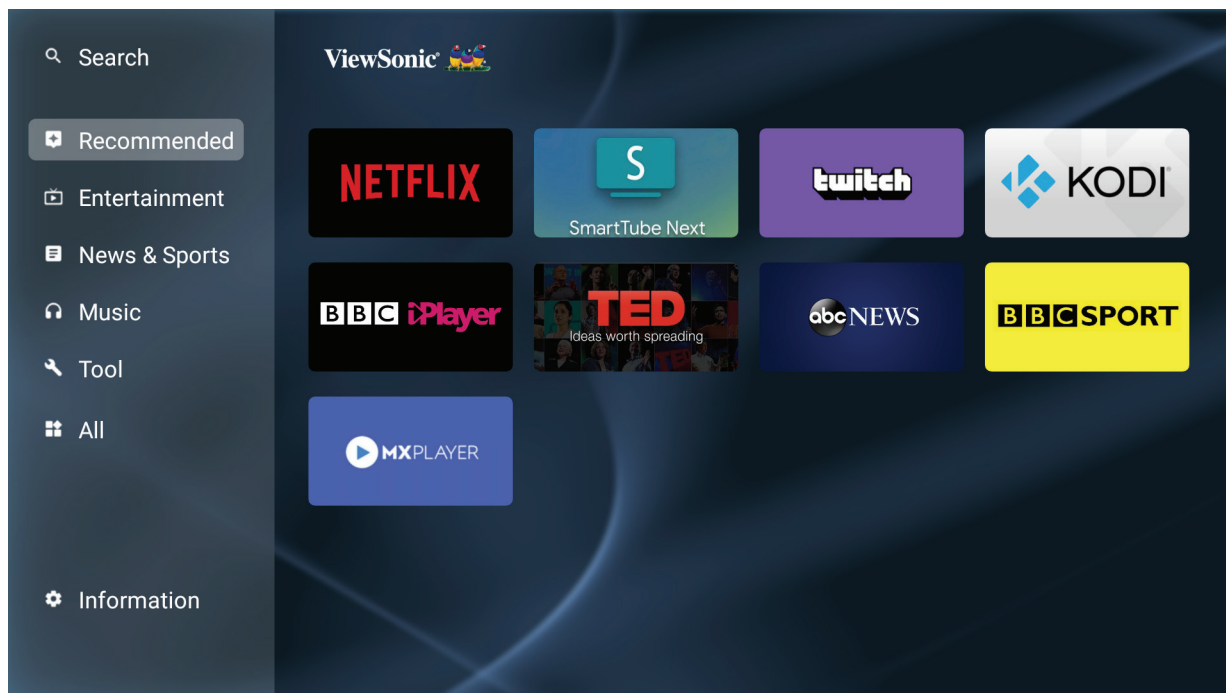
2. 方向ボタンを使ってアプリを選択します。次に、リモコンの **OK** を押すとアプリが起動します。



**注：**リモコンの**ホーム**ボタンを押すと、**ホーム**画面に戻ることができます。

## ViewSonic アプリストア

矢印ボタンを使って、メニューオプション間を移動します。目的のアプリが見つかったら、リモコンの **OK** ボタンを押すとそのアプリがインストールされます。

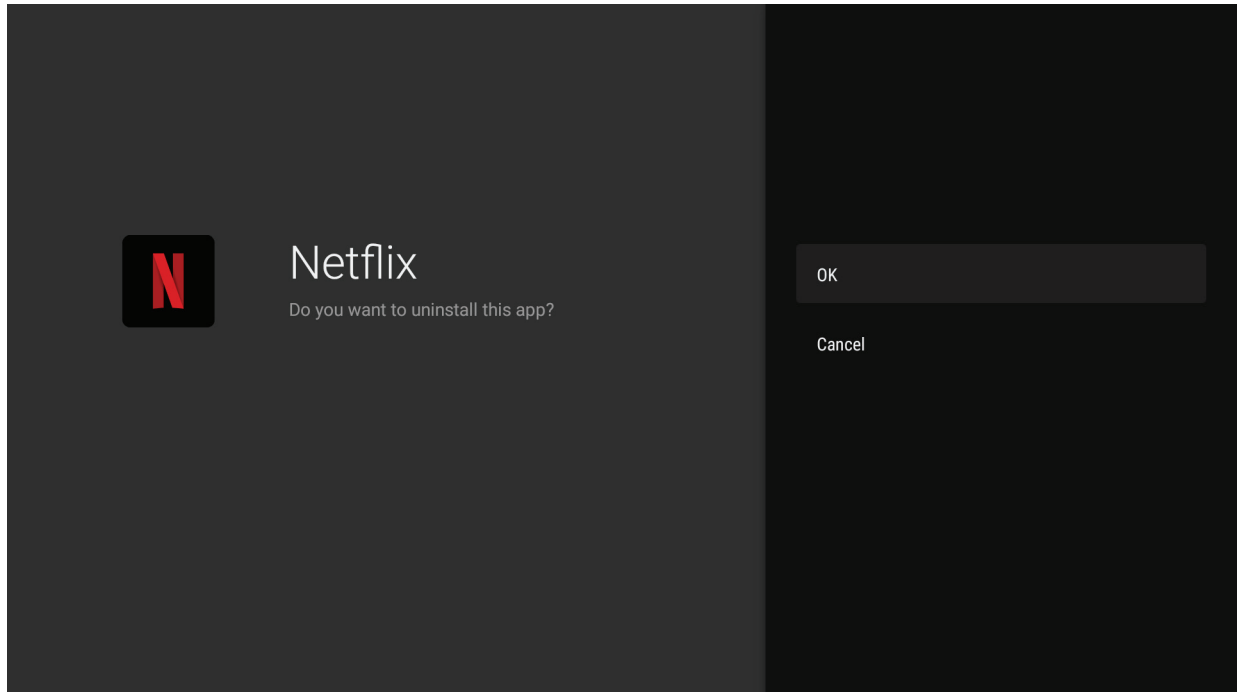


### 注：

- **File Management (ファイル管理)** から .apk ファイルを取得し、サードパーティのアプリをインストールできます。ただし、サードパーティのアプリの中には互換性の問題がある場合もあります。
- あらかじめ読み込まれていないアプリは互換性がなかったり、正常に機能しなかったりする場合があります。
- 一部のアプリはキーボードとマウスが必要です。
- 一部のアプリは一部の地域でのみ提供されています。

## アプリをアンインストールする

1. Apps Center（アプリセンター）は次の手順で開くことができます。  
ホーム > Apps Center（アプリセンター）。
2. 方向ボタンを使ってアプリを選択します。
3. リモコンの OK を 3 秒間押します。次のダイアログボックスが開きます。

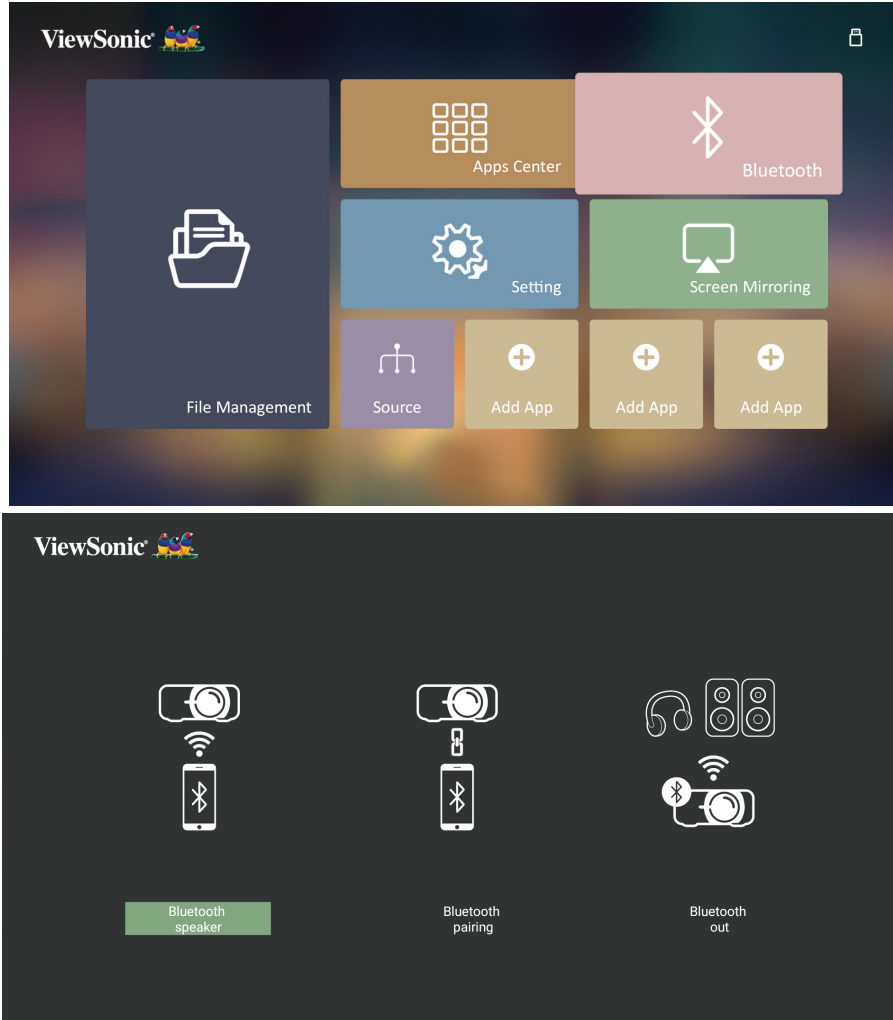


4. OK を選択すると、アプリがアンインストールされます。  
**注：**リモコンのホームボタンを押すと、ホーム画面に戻ることができます。

## Bluetooth

本機には、デバイスを実線で接続してオーディオを再生できる Bluetooth が搭載されています。

**注：** Bluetooth スピーカーをお使いになる前に、デバイスとプロジェクターをペアリングしてください。

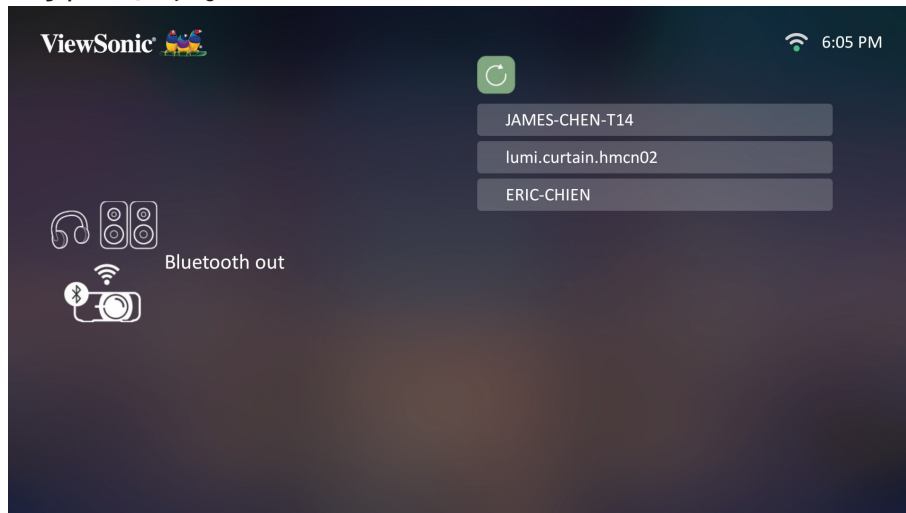


デバイスを接続してペアリングする：

1. まず、**ホーム画面** > **Bluetooth** を選択します。
2. ◀/▶ を使って **Bluetooth Speaker (Bluetooth スピーカー)** または **Bluetooth Pairing (Bluetooth ペアリング)** を選択します。次に、**ENTER/OK** を押します。
3. ダイアログボックスが開きますので、**Connect (接続)** を選択して **ENTER/OK** を押すと Bluetooth モードになります。
4. ペアリングモードに入ると、音が聞こえます。
5. 接続が完了すると、別の音が聞こえます。

**注：** 本機の名前は「ViewSonic Projector」(ViewSonic プロジェクター) と表示されます。ペアリングが完了し、プロジェクターとデバイスが共にオンになると、それらは自動的に **Bluetooth Speaker (Bluetooth スピーカー)** モードで Bluetooth を介して接続されます。一旦接続した後は、**電源**、**Exit**、**戻る** ボタンでのみ Bluetooth モードを終了できます。

6. プロジェクターが近くの Bluetooth デバイスの検索を開始します。リストからデバイスを選択し、**ENTER/OK** を押します。  
また、プロジェクターを Bluetooth 対応の外付けヘッドフォンやスピーカーに接続することもできます。
1. まず、**ホーム画面 > Bluetooth** を選択します。
  2. ◀/▶ を使って **Bluetooth Out (Bluetooth 出力)** を選択します。次に、**ENTER/OK** を押します。

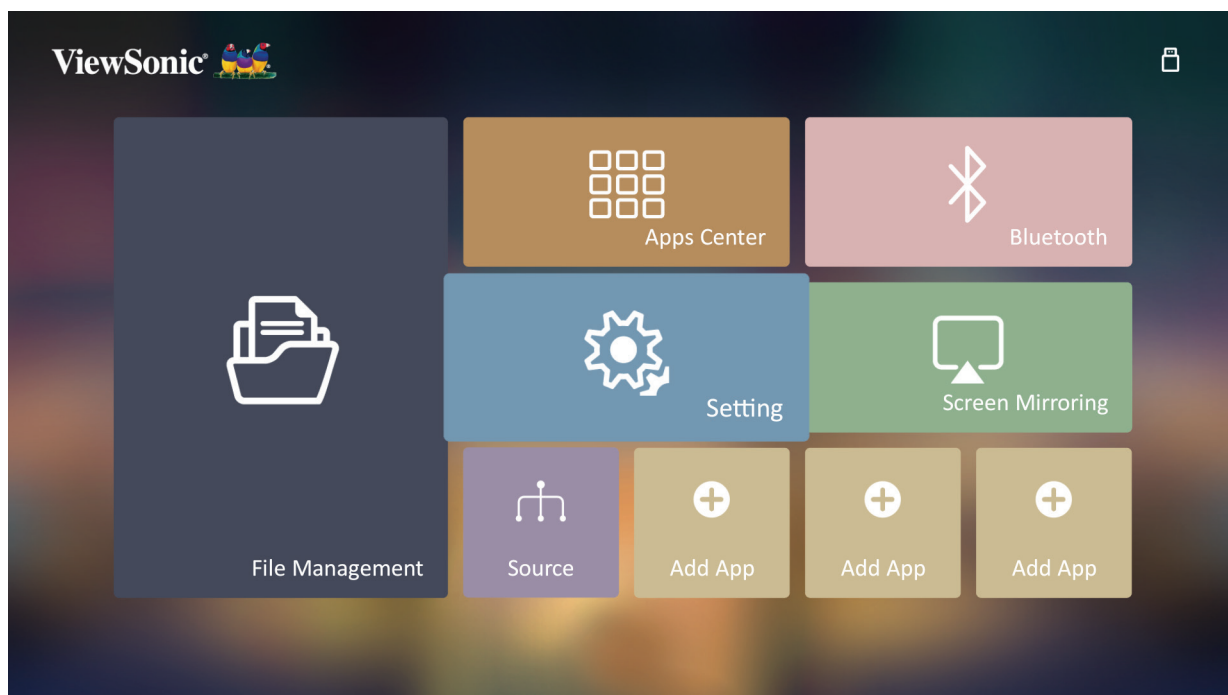


- 注：**ペアリングが完了し、プロジェクターとデバイスが共にオンになると、それらは自動的に Bluetooth を介して接続されます。
- 注：****Bluetooth Out (Bluetooth 出力)** 機能は、入力源が **Smart System** のときにのみ有効です。HDMI/USB C ソースではご使用いただけません。
- 注：**入力源が HDMI/USB C の場合は、同時に 2 本のサウンドが聞こえないように、接続した Bluetooth 機器をオフにしてください。



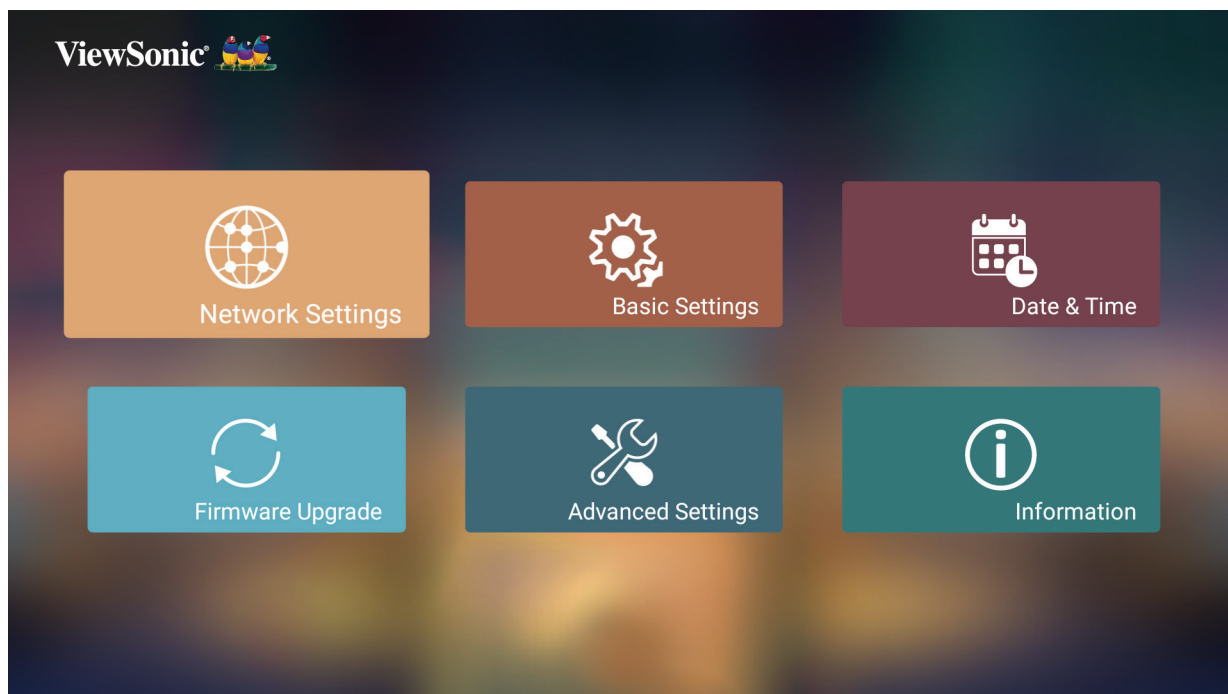
## Setting（設定）

Setting（設定）ではネットワーク、基本設定、詳細設定、日時、ファームウェアの更新を調整したり、情報を表示したりできます。

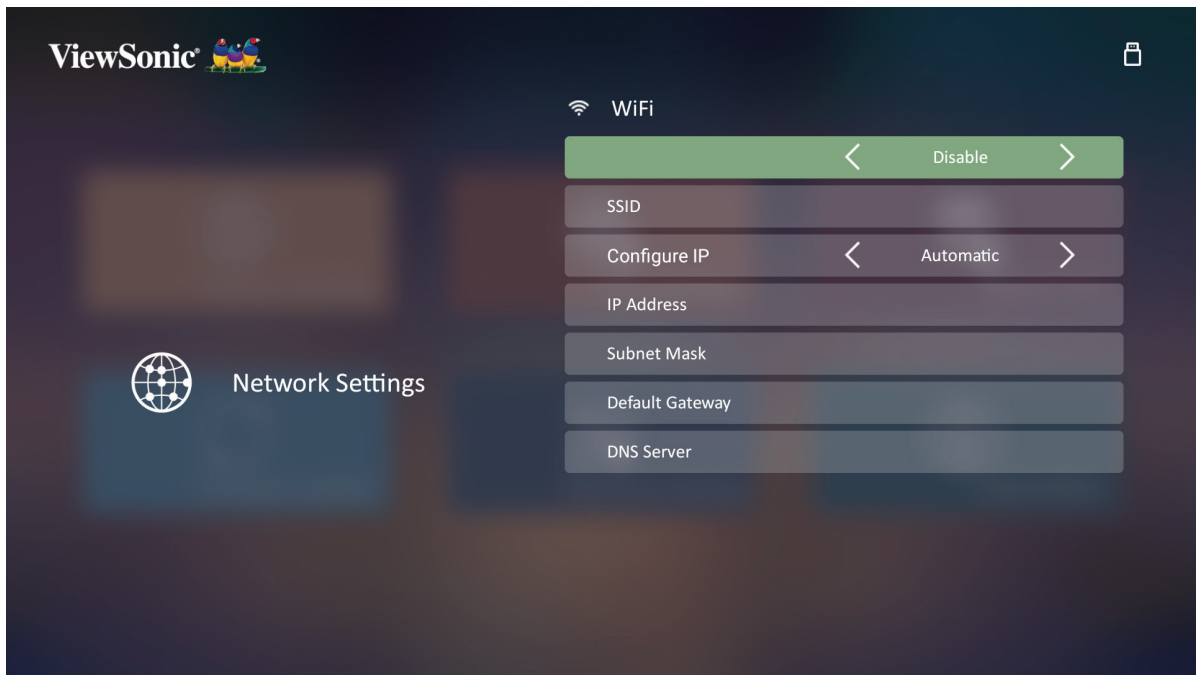


## Network Settings（ネットワーク設定）

1. 次の順番で選択します。ホーム > Setting（設定） > Network Settings（ネットワーク設定）。



2. Wi-Fi を選択します。



3. ◀左/▶右ボタンを使って **Enable (有効)** を選択します。

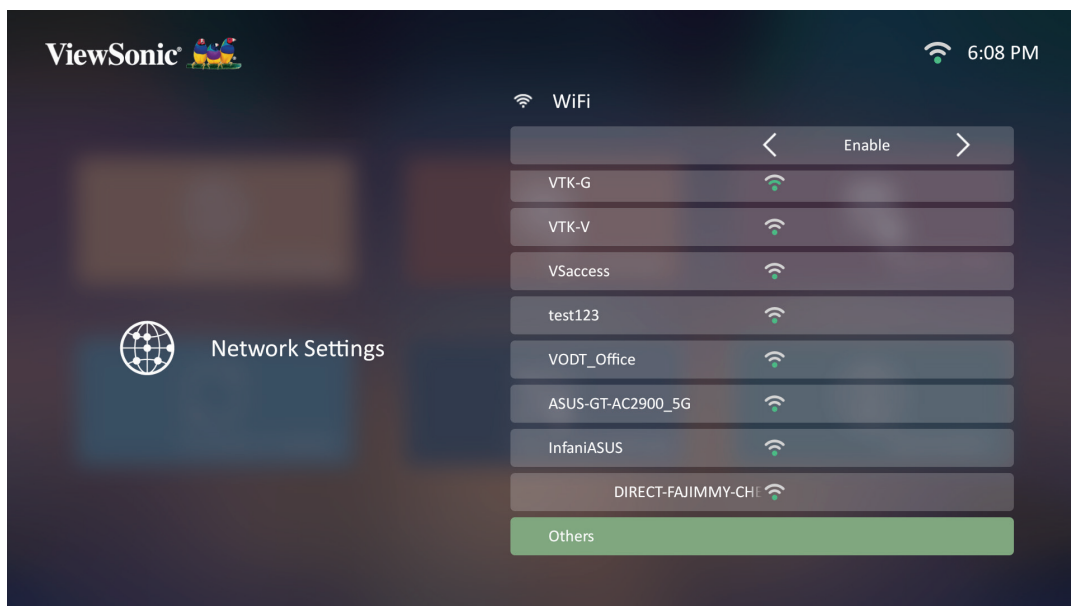


4. 有効なネットワークが表示されます。Wi-Fi ネットワークを選択します。
5. 安全な Wi-Fi ネットワークに接続したら、パスワードを求められた場合には入力してください。



## Custom SSID（カスタム SSID）

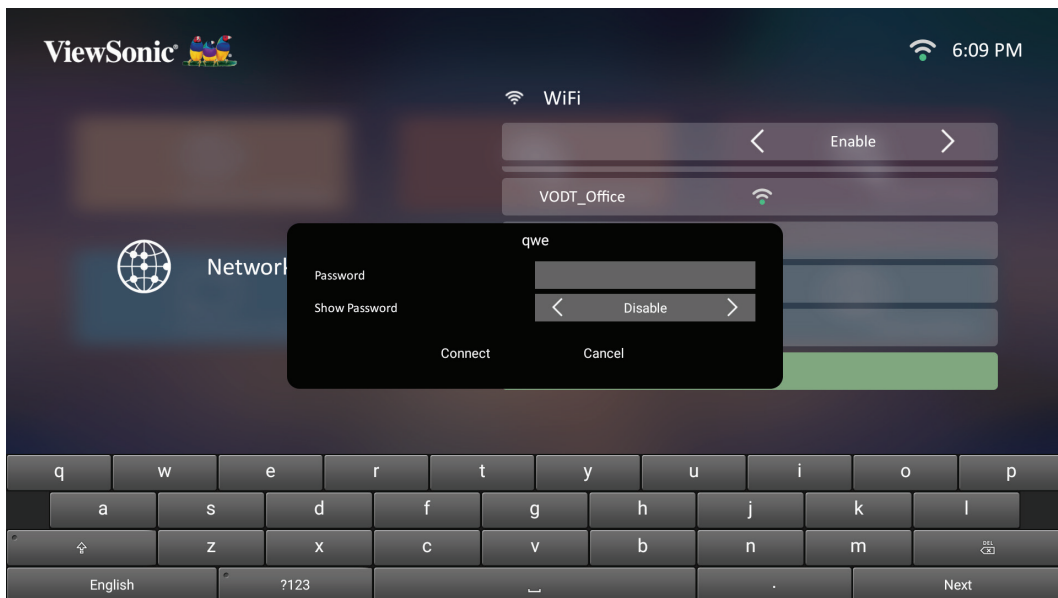
1. まず、**ホーム** > **Settings（設定）** > **Network Settings（ネットワーク設定）** > **Wi-Fi**。
2. リモコンの**左**または**右**を押して **Enable（有効）** を選択します。
3. 有効な Wi-Fi ネットワークリストから **Others（その他）** を選択して、リモコンの **OK** を押します。



4. SSID を入力してセキュリティレベルを選択します。

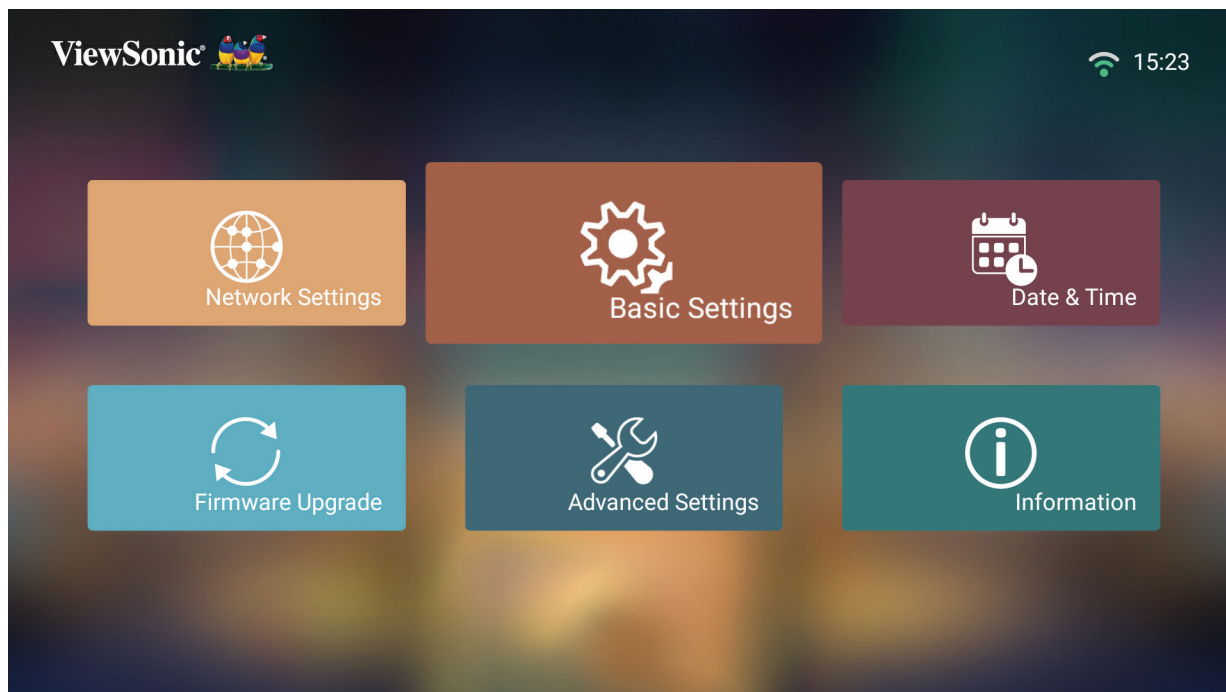


5. 求められたときにはパスワードを入力します

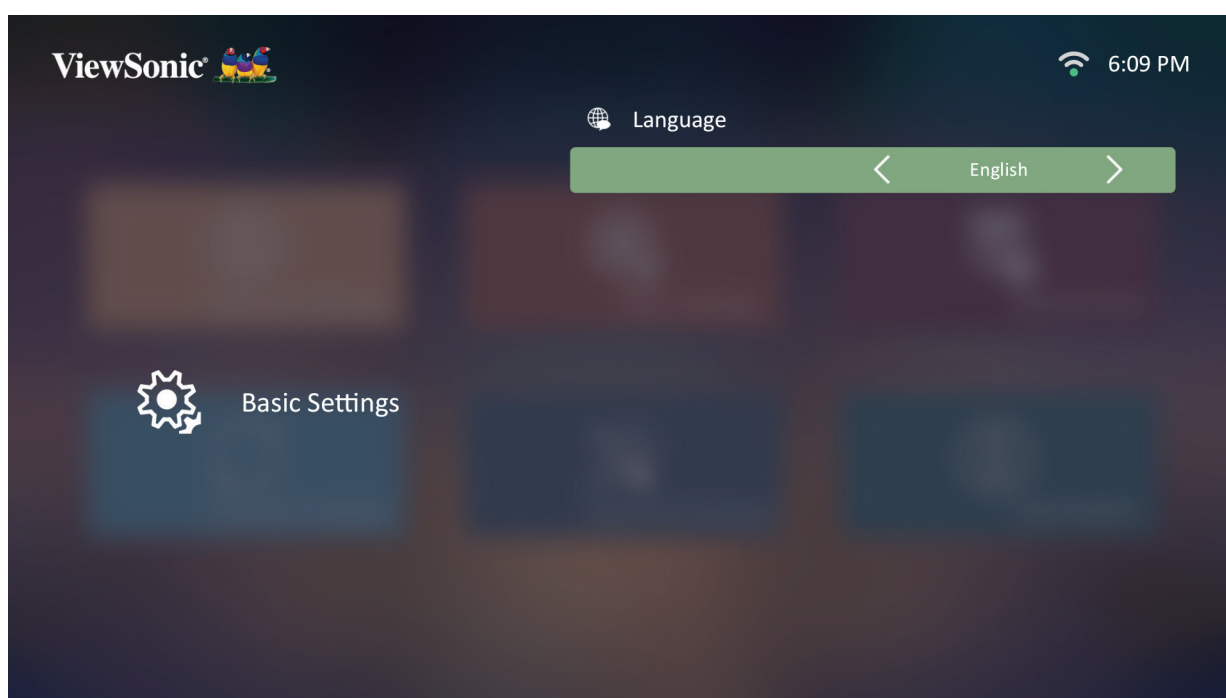


## Basic Settings (基本設定)

1. 次の順番で選択します。ホーム > Setting (設定) > Basic Settings (基本設定)。



2. 上ボタンと下ボタンを使ってオプションを選択し、OKを押します。次に、左ボタンを右ボタンで調整したり、選択したりします。



3. 前のメニューに戻るには、戻るボタンを押します。

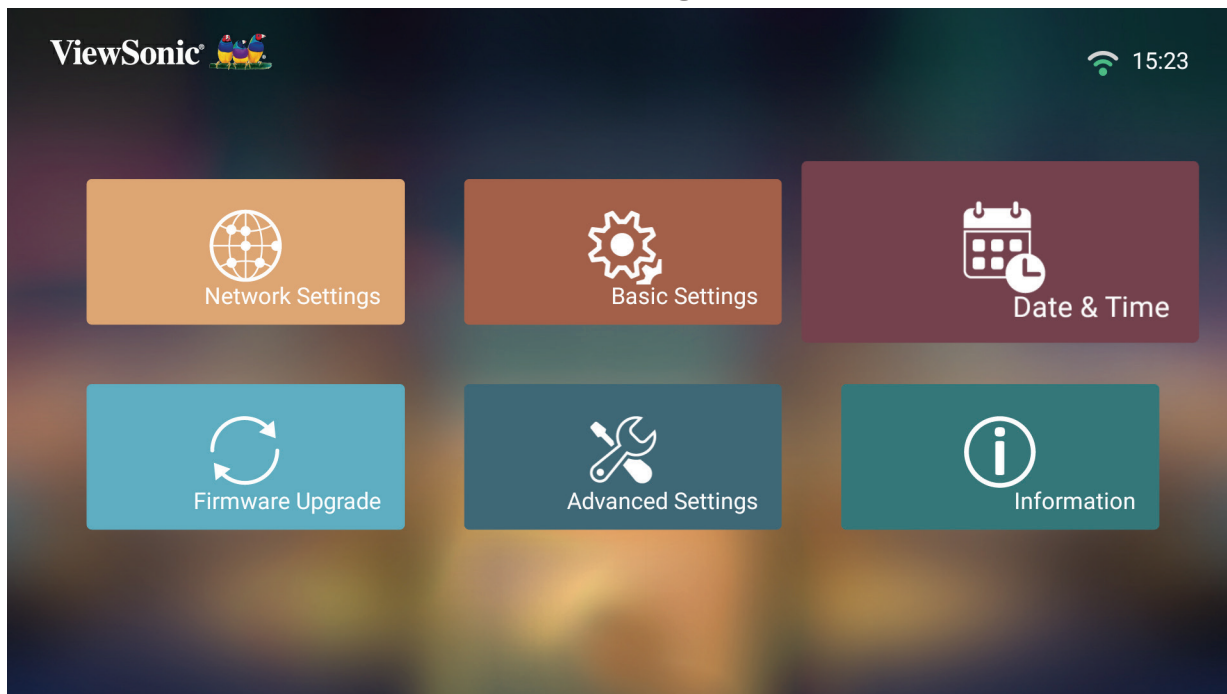
メニュー	説明
Language (言語)	言語を選択します。

## Date & time（日時）

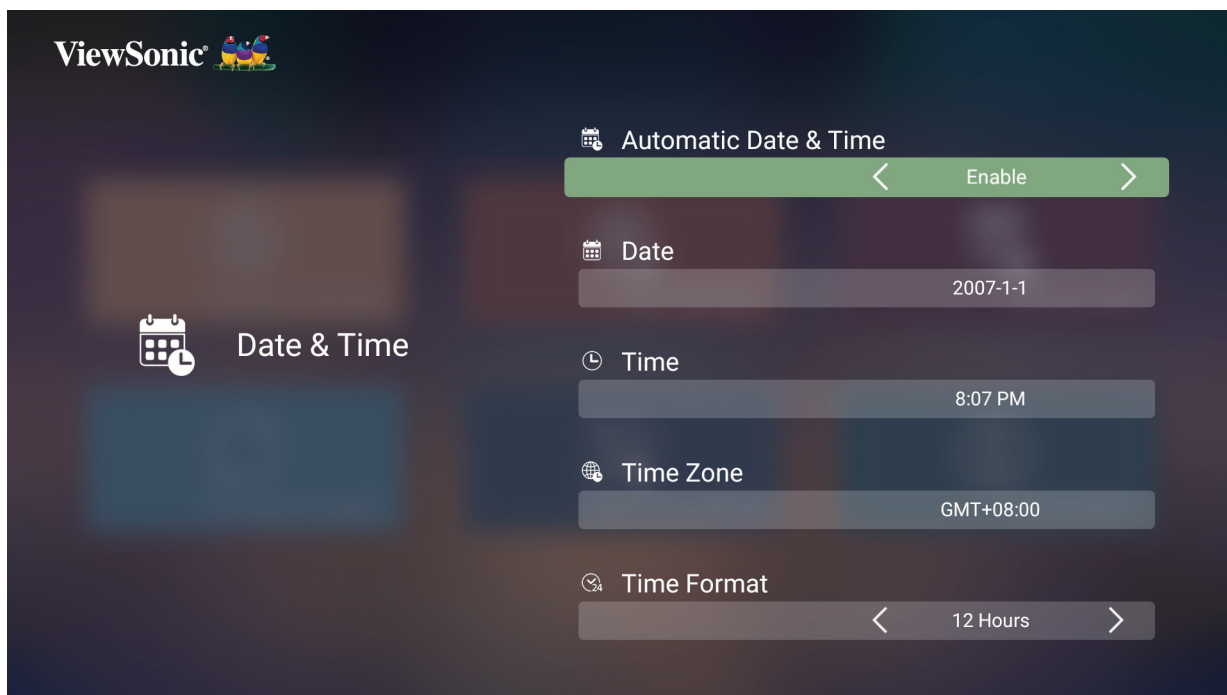
Date（日）、Time（時間）、Time Zone（タイムゾーン）、Time Format（時間形式）を調整します。

**注：**時間は、インターネットに接続した後で右上隅に表示されます。

1. 次の順番で選択します。**ホーム > Setting（設定） > Date & Time（日時）**。



2. **上ボタン**と**下ボタン**を使ってオプションを選択し、**OK**を押します。次に、**左ボタン**を**右ボタン**で調整したり、選択したりします。



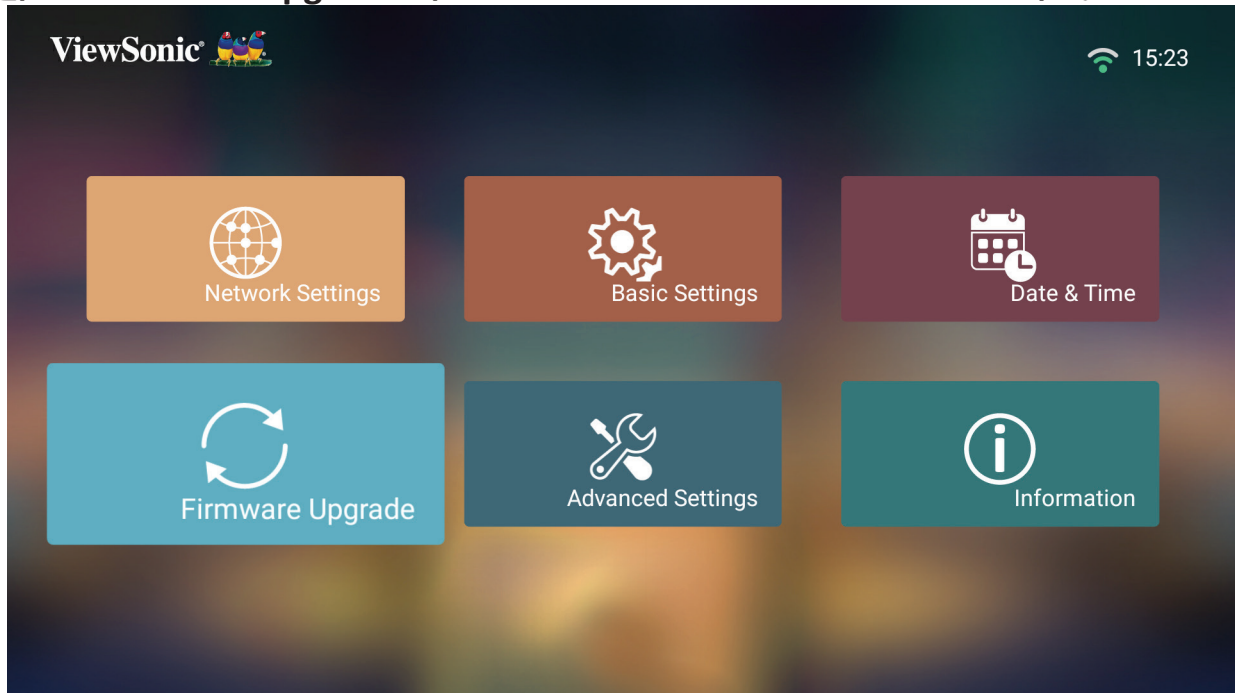
メニュー	説明
Automatic Date & Time (日時の自動設定)	インターネットに接続されると、日付と時間が自動的に同期されます。 <u><b>Enable (有効)</b></u> 同期を有効にします。 <u><b>Disable (無効)</b></u> 同期を無効にします。
Date (日付)	ネットワークに接続すると、日付は自動的に調整されます。
Time (時間)	ネットワークに接続すると、時間は自動的に調整されます。
Time Zone (タイムゾーン)	場所を選択します。
Time Format (時間のフォーマット)	別の時間表示法を選択します。 <u><b>12 Hours (12時間)</b></u> 12時間形式で表示します。 <u><b>24 Hours (24時間)</b></u> 24時間形式で表示します。

## Firmware Upgrade (ファームウェアのアップグレード)

ファームウェアはインターネット、またはUSBを使って更新することができます。バージョン番号を確認してください。

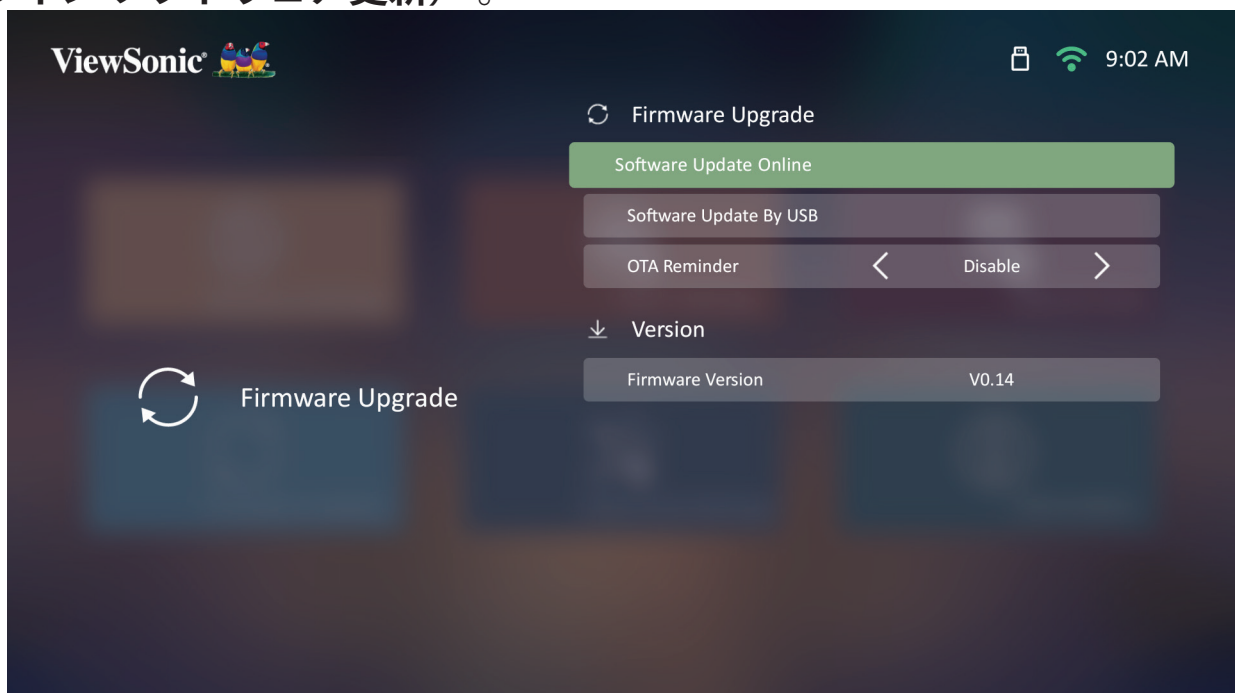
**注：**更新処理を行っている間は電源コードやUSBを取り外さないでください。また、インターネットには接続したままにしてください。

1. **Firmware Upgrade (ファームウェアのアップグレード)** メニューを開く前に、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. メニューを開くには、次の順番で選択してください。**ホーム > Setting (設定) > Firmware Upgrade (ファームウェアのアップグレード)**。



## オンラインでのファームウェア更新

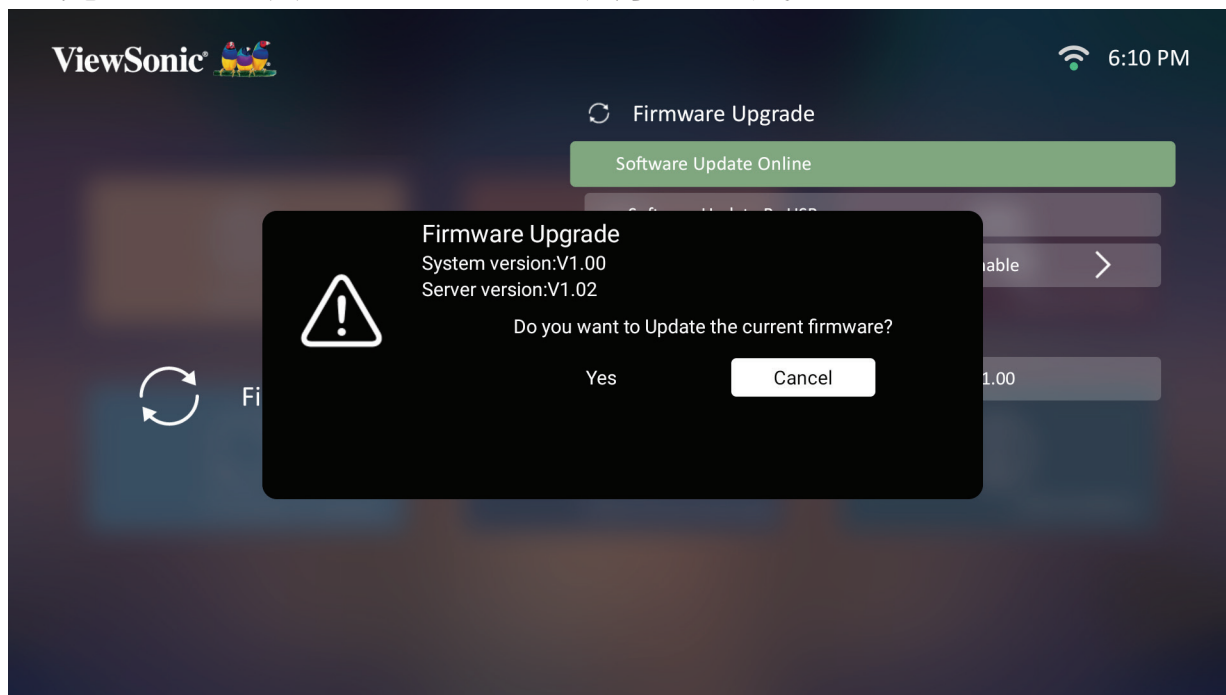
1. 次の順番で選択します。**ホーム > Setting (設定) > Firmware Upgrade (ファームウェアのアップグレード) > Software Update Online (オンラインソフトウェア更新)**。



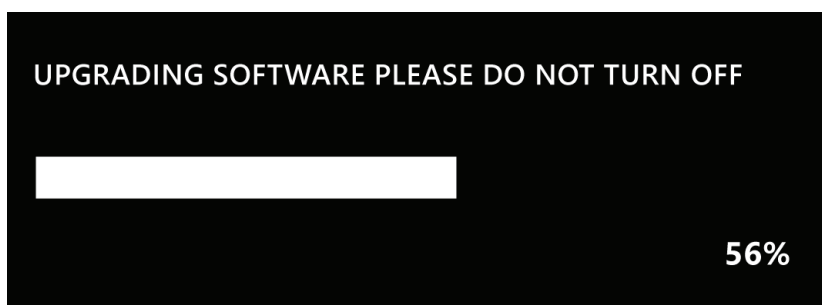
2. リモコンのOKを押して **Enter** を選択します。



3. システムは ViewSonic ウェブサイト (OTA) を確認し、新しいファームウェアが見つかったと次のメッセージを表示します。



4. **Yes (はい)** を選択すると、アップデート状況を示す進行状況バーが表示されます。



5. 100% に達すると、プロジェクターが画面を再起動している間、数分間画面が黒くなります。処理には約10分かかります。
6. ファームウェアの更新が完了すると、数分でプロジェクターが再起動します。

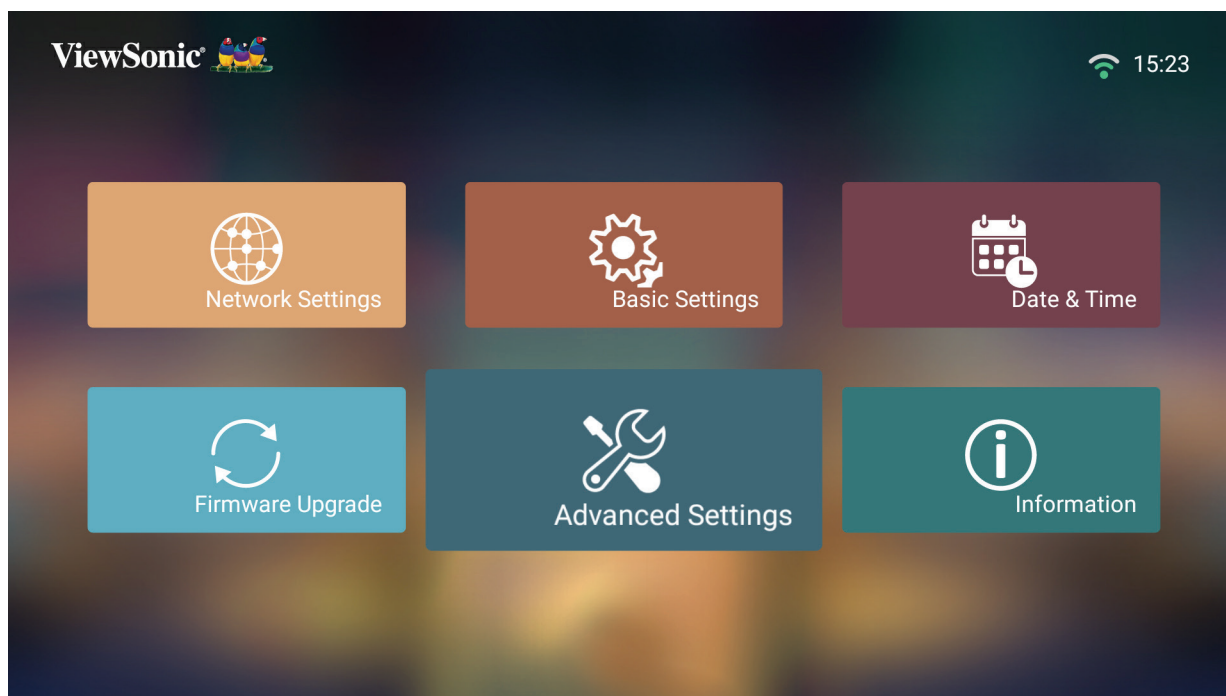
## FAT32 フォーマットの USB でファームウェアを更新する

**注：**NTFS フォーマット、読み取り専用です。

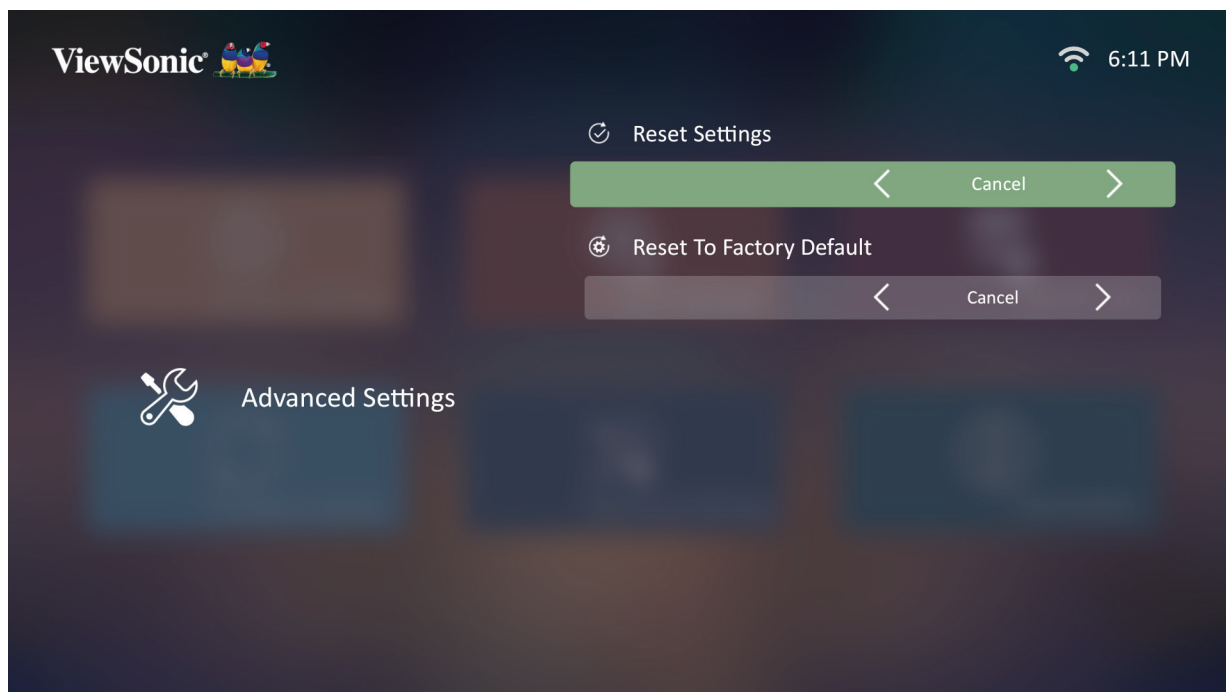
1. ViewSonic のウェブサイトから最新版のファームウェアをダウンロードし、そのファイルを USB デバイスにコピーします。
2. USB をプロジェクターに挿入し、次の順番で選択します。**ホーム > Setting (設定) > Firmware Upgrade (ファームウェアのアップグレード) > Software Update By USB (USB でのソフトウェア更新)**。
3. リモコンの **OK** を押して **Enter** を選択します。
4. システムがファームウェアバージョンを検出すると、上記のダイアログメッセージが表示されます。
5. **Yes (はい)** を選択すると、アップデート状況を示す進行状況バーが表示されます。
6. 100% に達すると、プロジェクターが画面を再起動している間、数分間画面が黒くなります。処理には約10分かかります。
7. ファームウェアの更新が完了すると、数分でプロジェクターが再起動します。

## Advanced Settings (詳細設定)

1. 次の順番で選択します。ホーム > Setting (設定) > Advanced Settings (詳細設定)。



2. 上ボタンと下ボタンを使ってオプションを選択し、OKを押します。次に、左ボタンを右ボタンで調整したり、選択したりします。

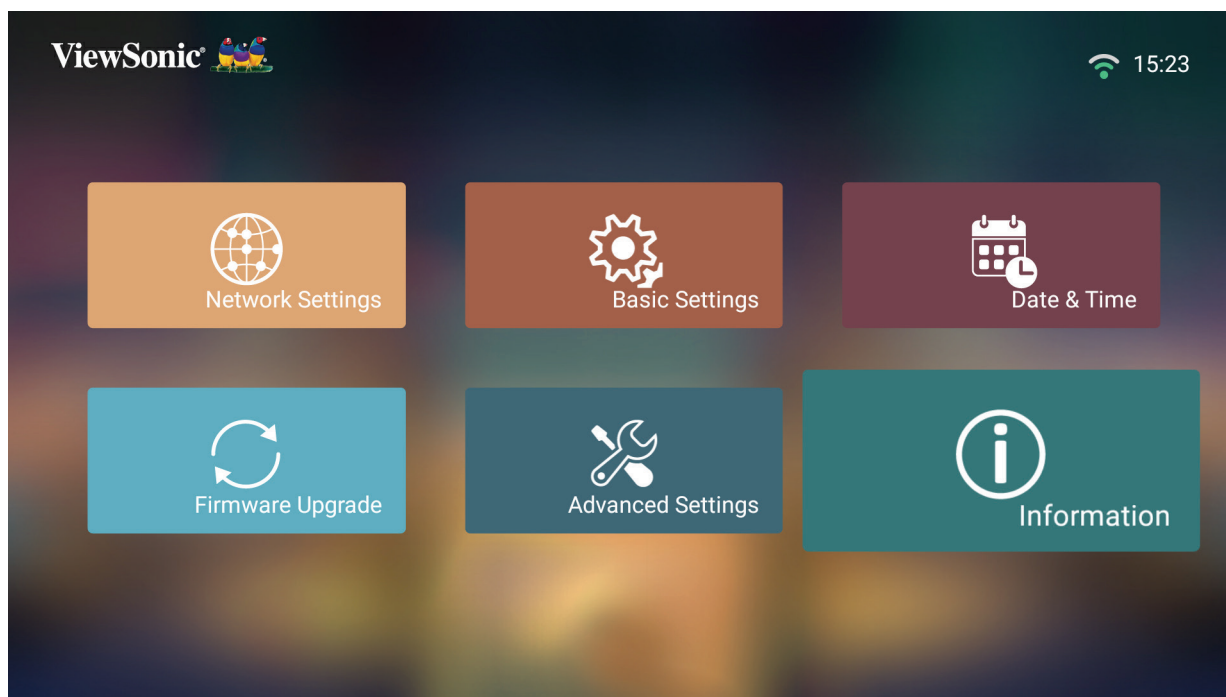


3. 前のメニューに戻るには、戻るボタンを押します。

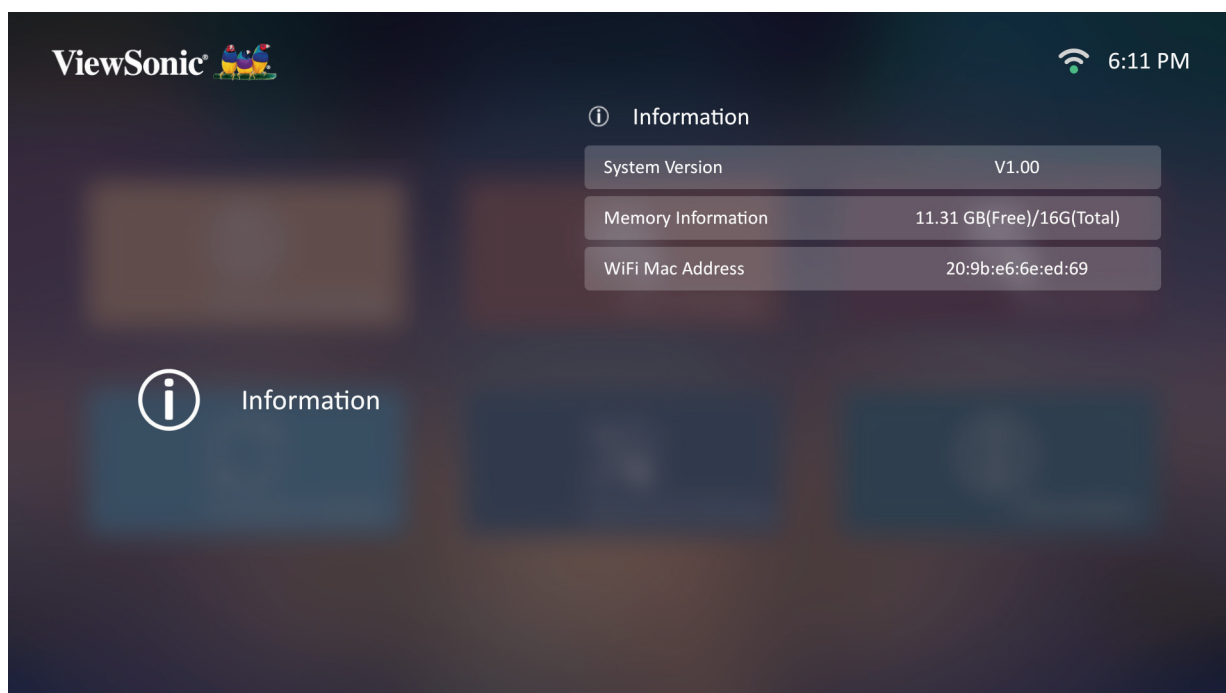
メニュー	説明
Reset Settings (設定をリセット)	WiFi および Bluetooth 設定をリセットします。
Reset To Factory Default (オールリセット)	初期値に戻します。

## Information（インフォメーション）

1. 次の順番で選択します。ホーム > Setting（設定） > Information（インフォメーション）。



2. システム状態と情報が表示されます。

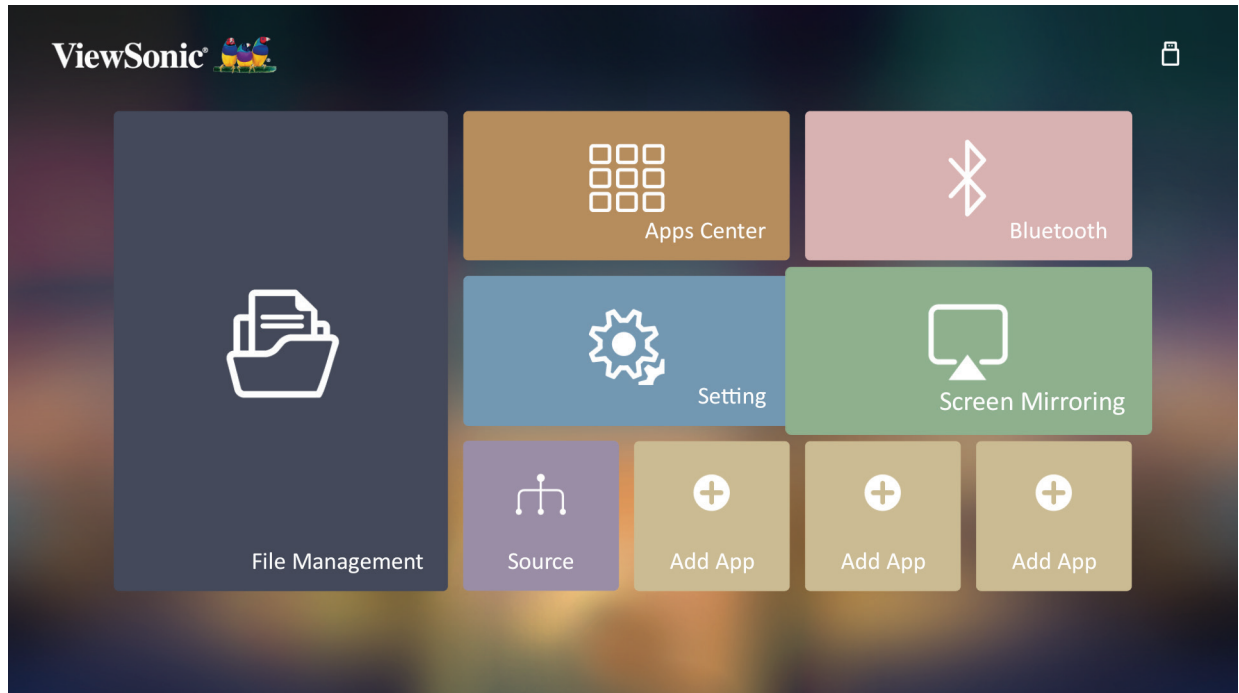


**注：**リモコンのホームボタンを押すと、ホーム画面に戻ることができます。

## Screen Mirroring（画面のミラー化）

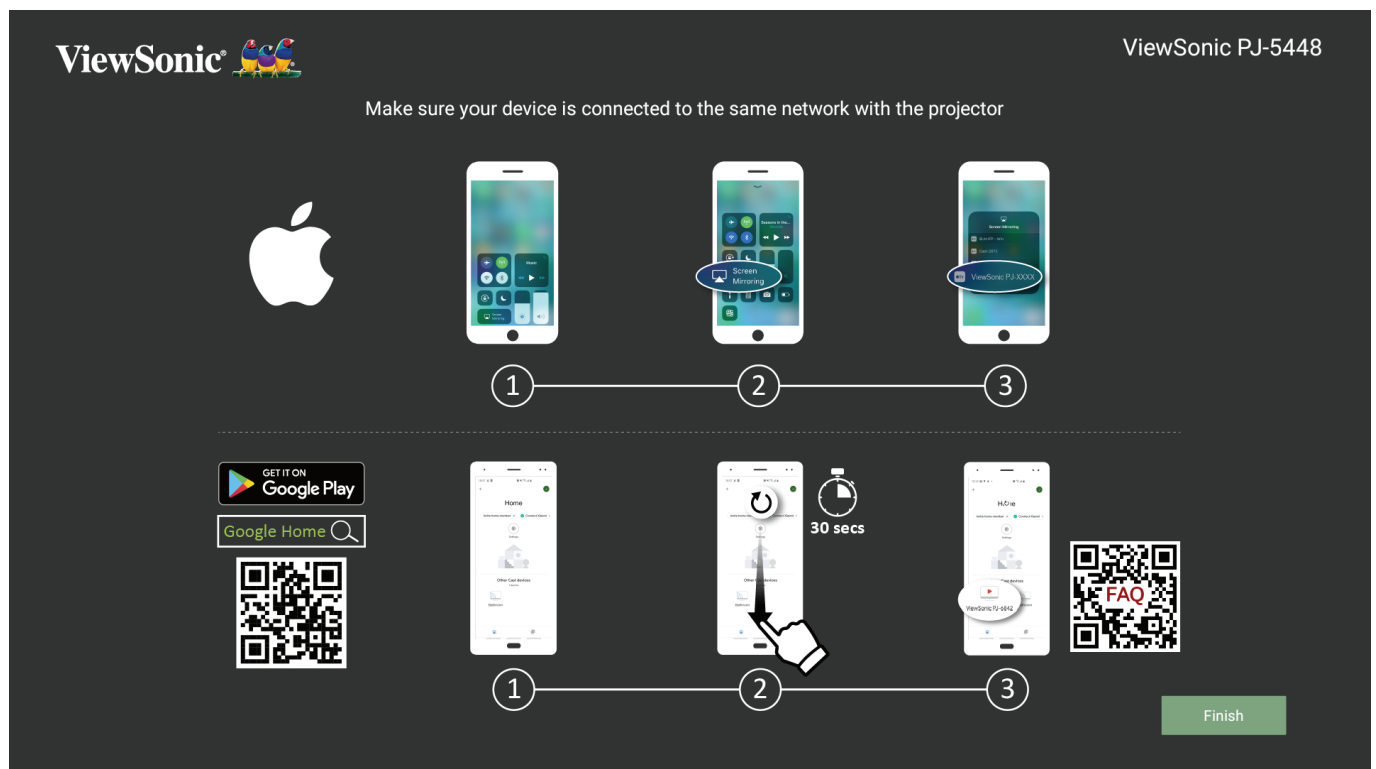
パーソナル機器の画面をミラー化します。

**注：**デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認します。



Screen Mirroring（画面のミラー化）を選択すると、スクリーンを個人デバイスにミラー化できるように 5GHz Wi-Fi 接続を行います。

**注：**デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認します。



ios の場合：

3. ドロップダウン コントロールメニューを開きます。

4. 「画面のミラー化」アイコンを選択します。
5. 「ViewSonic PJ-XXXX」を選択します。

#### **Android の場合：**

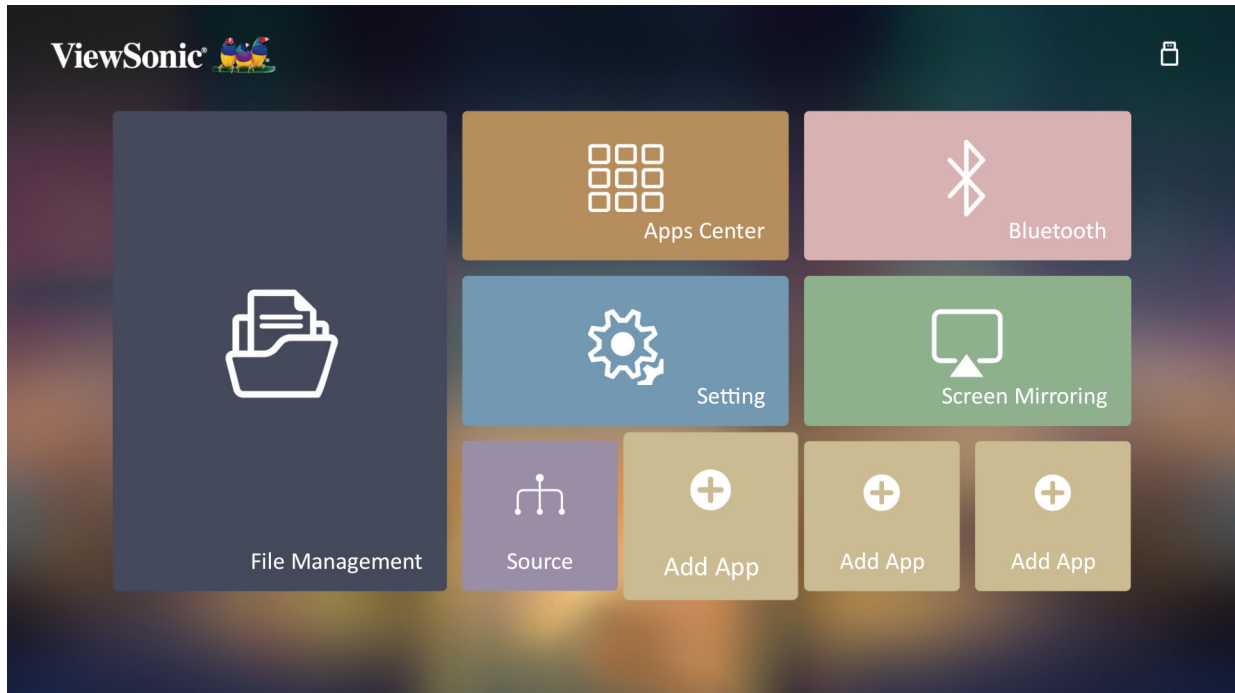
1. 「Google Home」アプリケーションをダウンロードしてインストールします。
2. アプリを引っ張って更新して 30 秒待ちます。
3. 「ViewSonic PJ-XXXX」が選択できるようになります。

**注：**一部の Android デバイスはダイレクト「キャスト」に対応しているものもあります。お使いのデバイスが対応している場合は、キャスト機能を選択し、リストから「ViewSonic PJ-XXX」を選択します。または、FAQ QR コードをスキャンして、手順にしたがって Android デバイスを直接キャストします。

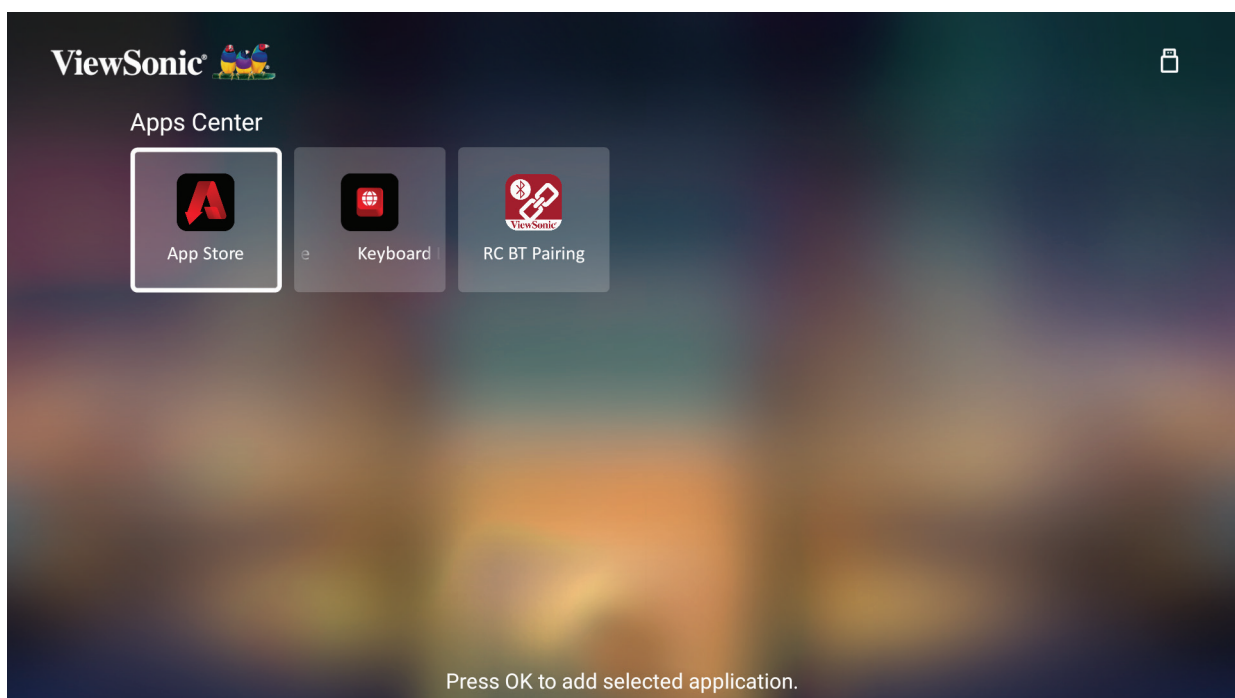
## アプリを追加

好きなアプリをホーム画面に追加します。

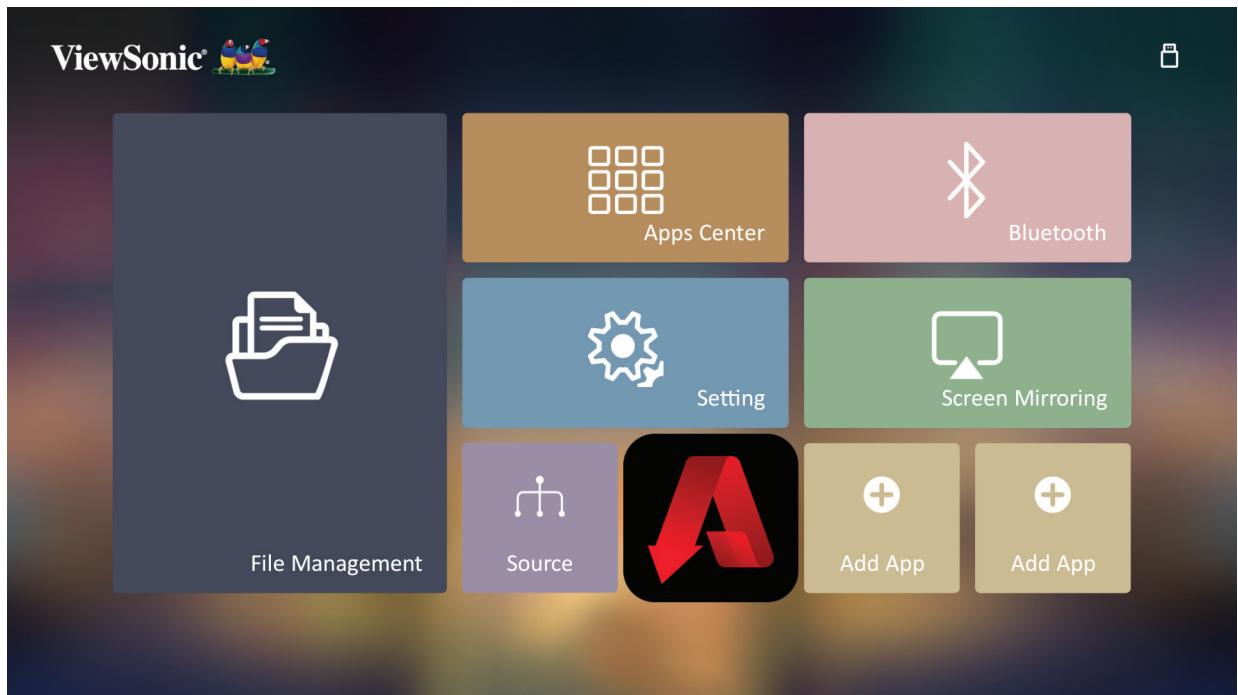
1. ホーム画面から **Add App**（アプリを追加）を選択し、リモコンで **OK** を押します。



2. 方向ボタンを使ってアプリを選択し、**OK** を押します。

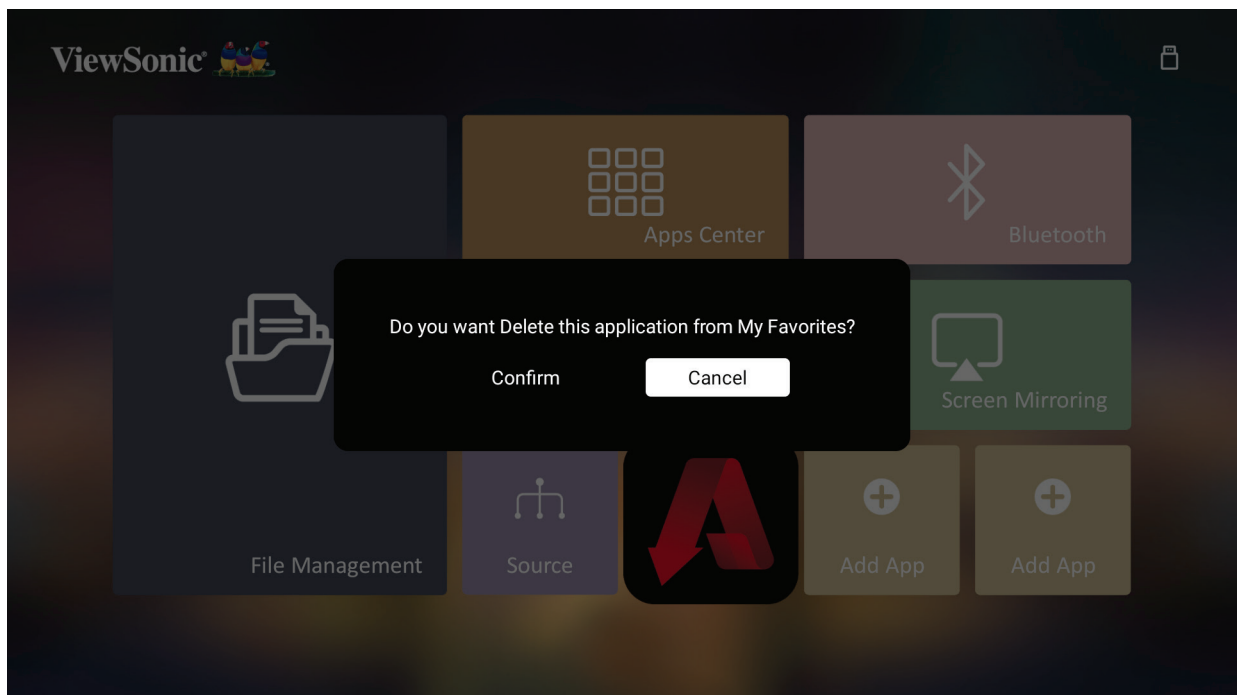


3. これでお気に入りのアプリがホーム画面に表示されます。



### ホーム画面からアプリを削除する

1. ホーム画面から削除したいアプリを選択し、**OK** を 3 秒間押します。
2. 「Do you want Delete this application from My Favorites?」（お気に入りからアプリケーションを削除しますか?）というメッセージが表示されます。



3. **Yes（はい）** を選択し、**OK** を押すとアプリが削除されます。



# 付録

## 仕様

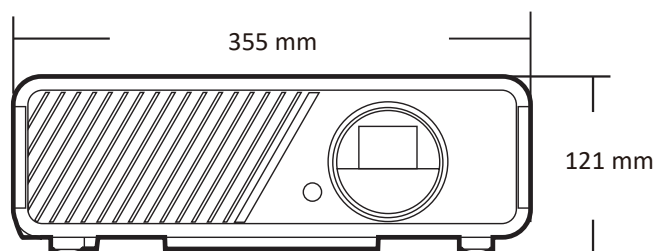
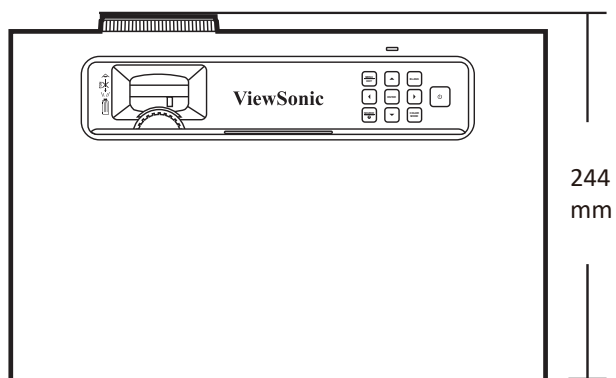
アイテム	カテゴリー	仕様	
		X1-4K	X2-4K
プロジェクター	タイプ	0.65" 4K UHD、LED	
	ディスプレイサイズ	60"~150"	60"~120"
	投写率	1.15~1.5 (95"±3%@2.41m)	0.69~0.83 (95"±3%@1.44m)
	レンズ	F = 2.48 – 2.78	F = 2.53 – 2.73
	光学ズーム	1.3x±3%	1.2x±3%
	光源タイプ	LED	
	ディスプレイシステム	1-CHIP DMD	
入力信号	HDMI	f <sub>h</sub> : 15K~135KHz、f <sub>v</sub> : 23~240Hz、 最大ピクセルレート : 600MHz	
解像度	ネイティブ	3840 x 2160	
電源アダプター <sup>1</sup>	入力電圧	AC 100-240 V、50/60 Hz (自動切り替え)	
操作条件	温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	
	湿度	10% ~ 90% (結露なきこと)	
	高度	0 ~ 1499 m (0°C ~ 35°C) 1500 ~ 3000 m (0°C ~ 30°C)	
保管条件	温度	-20°C ~ 60°C (結露なきこと)	
	湿度	10% ~ 90% (結露なきこと)	
	高度	0 ~ 12200 m (30°C)	
外形寸法	本体 (W x H x D)	355 x 121 x 244 mm (14" x 4.8" x 9.6")	355 x 121 x 251 mm (14" x 4.8" x 9.9")
重量	本体	3.6±0.2 kg (7.94±0.44 lb)	
消費電力	オン <sup>2</sup>	236 W (標準)	
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)	

<sup>1</sup> ViewSonic® 製または認定されたメーカーのアダプター以外はご使用にならないください。

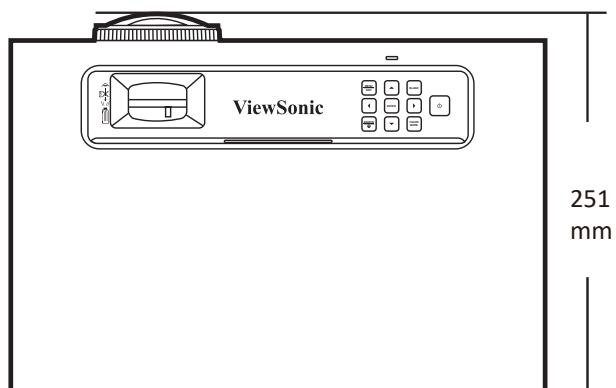
<sup>2</sup> テスト条件は EEI 基準に準拠しています。

## 本機サイズ

### X1-4K



### X2-4K



# タイミングチャート

HDMI/USB C (PC)			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 x 480	4:3	60/72/75/120
SVGA	800 x 600	4:3	60/72/75/120
XGA	1024 x 768	4:3	60/70/75/120
	1152 x 864	4:3	75
HD	1280 x 720	16:9	60/120
WXGA	1280 x 768	15:9	60
	1280 x 800	16:10	60/75/120
	1366 x 768	16:9	59.7
Quad-VGA	1280 x 960	4:3	60
SXGA	1280 x 1024	5:4	60/75
SXGA+	1400 x 1050	4:3	60
WXGA+	1440 x 900	16:10	60
UXGA	1600 x 1200	4:3	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
WUXGA	1920 x 1200	16:10	60
MAC 13"	640 x 480	4:3	67
MAC 16"	832 x 624	4:3	75
MAC 19"	1024 x 768	4:3	75
MAC 21"	1152 x 870	4:3	75
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	60/120/240
1440p	2560 x 1440	16:9	60/120RB
4K UHD	3840 x 2160	16:9	30/60

HDMI/USB C (ビデオ)			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
HDTV (4K)	3840 x 2160	16:9	24 / 25 / 30 / 50 / 60
HDTV (1440p)	2560 x 1440	16:9	60/120RB
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	24
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	50 / 60
HDTV (1080i)	1920 x 1080	16:9	50 / 60
HDTV (720p)	1280 x 720	16:9	50 / 60
SDTV (480p)	720 x 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 x 576	4:3 / 16:9	50

HDMI/USB C (ビデオ)			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
SDTV (480i)	720 x 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 x 576	4:3 / 16:9	50

3D (HDMI 信号を含む)			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
SVGA	800 x 600	4:3	60* / 120**
XGA	1024 x 768	4:3	60* / 120**
HD	1280 x 720	16:9	60* / 120**
WXGA	1280 x 800	16:9	60* / 120**
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	60
<p><b>注：</b>*50Hz および 60Hz 信号は、サイドバイサイド、トップアンドボトム、フレームシーケンシャルフォーマットをサポートしています。</p> <p><b>注：</b>**120 Hz 信号は、フレームシーケンシャルフォーマットのみサポートしています。</p>			

HDMI 3D			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
<b>フレームパッキング形式</b>			
1080p	1920 x 1080	16:9	23.98/24
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60
<b>サイドバイサイド形式</b>			
1080i	1920 x 1080	16:09	50/60
1080p	1920 x 1080	16:09	50/60
<b>トップアンドボトム形式</b>			
1080p	1920 x 1080	16:9	24/50/60
720p	1280 x 720	16:9	50/60
576p	720 x 576	16:9	60
480p	720 x 480	16:9	59.94

# トラブルシューティング

## 一般的な問題

ここでは、プロジェクターに関連する一般的に見られる問題について説明します。

問題	対策
プロジェクターの電源がオンにならない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードが正しくプロジェクターとコンセントに接続されているか確認してください。</li><li>冷却処理が完了していない場合は、冷却処理が完了してから電源を入れなおしてください。</li><li>それでも電源がオンにならない場合は、別のコンセントに接続してみるか、同じコンセントに別の電子機器を接続してみてください。</li></ul>
画像が映らない	<ul style="list-style-type: none"><li>ビデオケーブルが正しく接続され、ビデオ入力源がオンになっているか確認してください。</li><li>入力源が自動的に選択されない場合は、プロジェクターかリモコンの <b>Source</b> キーを使って正しい入力源を選択してください。</li></ul>
画像がぼける	<ul style="list-style-type: none"><li><b>フォーカスリング</b>を使用すると、投写レンズを正確に調整できます。</li><li>プロジェクターとスクリーンを正しく揃えて設置してください。必要であれば、プロジェクターの高さと投写角度および方向も調整してください。</li></ul>
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンとプロジェクターの間に障害物がないことを確認し、リモコンからプロジェクターまでの距離は8メートル（26フィート）以内であることを確認してください。</li><li>電池が切れているかもしれません。確認の上、必要であれば交換してください。</li></ul>
画像が正常に表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>ビデオケーブルが正しく接続され、ビデオ入力源がオンになっているか確認してください。</li><li>上記の方法で解決できない場合は、通気口が塞がっていないことを確認してください。</li></ul>
BluetoothまたはWiFiでの接続に失敗	<ul style="list-style-type: none"><li>入力源がスマートシステムのときは、<b>Settings</b>（設定）&gt; <b>詳細設定</b>&gt; <b>設定のリセットメニュー</b>から <b>Reset Wi-Fi mobile &amp; Bluetooth</b>（Wi-Fi モバイルとBluetooth をリセット）を実行します。</li><li>「設定」→「ネットワーク設定」→「WiFi」メニューの中にあるWiFi機能をオフにした後に、もう一度オンにします</li></ul>

## LED インジケータ

ライト	状態と説明
オレンジ色	スタンバイモード。
緑に点滅	電源を入れています。
緑	通常動作状態です。
赤	ダウンロード中。
オレンジ色点滅	書き込みオフ。
1秒に1回赤く点滅	ファンエラー。
3秒に1回赤く点滅	感熱および温度エラー。
交互に緑と赤に点滅	光源エラー。

# メンテナンス

## 全般的な注意

- プロジェクターの電源が切っており、コンセントから外してあることを確認してください。
- プロジェクターのパーツは絶対に取り外さないでください。プロジェクターのパーツの交換が必要な場合は、ViewSonic® または販売店にご相談ください。
- ケースにスプレーを吹き付けたり、液体を直接かけたりしないでください。
- プロジェクターの取り扱いにはご注意ください。暗い色のプロジェクターについての傷は、明るい色のプロジェクターよりも目立ちます。

## レンズのお手入れ

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが落ちない場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。

**注意：**研磨剤でレンズをこすらないでください。

## ケースのお手入れ

- 汚れやホコリは柔らかく、毛羽立ちのない乾いた布で拭き取ってください。
- それでも汚れが落ちない場合は、非アンモニア系、非アルコール系の研磨剤を含まない中性洗剤を清潔な毛羽立ちのない布に取り拭き取ってください。

**注意：**ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。

## プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認します。
- 高さ調整用脚を完全におさめます。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまします。

## おことわり

- ViewSonic® は、レンズやケースにアンモニア系またはアルコール系のクリーナーをご使用になることはお勧めしません。化学クリーナーによっては、レンズやケースが破損する場合がありますと報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニア系またはアルコール系のクリーナーを使用した結果生じた故障については一切責任を負いません。

# 光源について

ここでは、光源について説明します。

## 光源時間

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーが光源の使用時間（時間単位）を自動的に計算します。

光源の使用時間を知るには：

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**詳細設定 > 光源の設定 > 光源時間情報** を選択します。
2. **Enter** を押すと、**光源時間情報** ページが表示されます。
3. **Exit** を押すと、メニューを終了します。

## 光源の寿命を延長するには

光源の寿命をできるだけ長く維持するには、OSD メニューで次の設定を行ってください。

## 光源モードを設定

プロジェクターを **ノーマル** 以外のモードに設定すると、システムノイズと電力消費量を低減させ、光源の寿命を延長できます。

光源モード	説明
ノーマル	光源を完全に明るくします。
Eco	光源の電力消費量を 40% 節電し、輝度を下げて、さらにファンのノイズも低減します。
ダイナミックブラック 1	コンテンツの輝度レベルによっては、電力消費量を最大 70% 節電できます。
ダイナミックブラック 2	コンテンツの輝度レベルによっては、電力消費量を最大 50% 節電できます。
カスタム	光源の電力を調整すると、光源の寿命を延ばし、ファンのノイズを低減することができます。

光源モードを設定するには、OSD メニューを開き、**詳細設定 > 光源の設定 > 光源モード** を選択します。次に、◀/▶ を押して **Enter** を押します。

## 自動パワーオフを設定

指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

OSD メニューを開き、**電源管理 > スマートエネルギー > オートパワーオフ** を選択します。次に、◀/▶ を押して時間を無効にするか、調整します。



# > 規制およびサービス情報

## コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対应用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

### FCCコンプライアンス声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC規則パート15に従って試験され、クラスBデジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

**警告：**コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

## **FCC放射線被ばく声明**

この装置は、管理されていない環境に対して定められたFCC放射線被曝制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF暴露コンプライアンスを満たすために、特定の操作手順に従う必要があります。

本送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、一緒に動作させたりしてはなりません。本装置は、ラジエーターと身体の間には最低20 cmの距離を置いて設置および操作する必要があります。

意図的または意図的ではないラジエーターのユーザーマニュアルまたは取扱説明書は、コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、ユーザーの機器を操作する権限が無効になる可能性があることをユーザーに警告するものとします。

## **カナダ産業省の声明**

CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

### **IC警告に関する声明**

本装置は、カナダ産業省の免税RSS規格に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、装置の望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

### **国コードに関する声明**

米国/カナダ市場で入手可能な製品の場合、チャンネル1から11のみを操作できません。他のチャンネルの選択はできません。

Pour les produits disponibles aux États-Unis/Canada du marché, seul le canal 1 à 11 peuvent être exploités. Sélection d'autres canaux n'est pas possible.

## IC放射線被ばくに関する声明

本装置は、管理されていない環境に対して定められたIC RSS-102放射線被曝制限に準拠しています。本装置は、ラジエーターと身体の上に最低20cmの距離を置いて設置および操作する必要があります。5150～5825 MHz帯域の装置は、屋内での使用のみを目的としており、同一チャンネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減します。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps. Les dispositifs fonctionnant dans la bande 5150-5825 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage.

5150～5250 MHz帯域の動作は、屋内での使用のみを目的としており、同一チャンネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減します。

La bande 5 150-5 250 MHz est réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

## 欧州諸国のCE適合

**CE** 本装置は、EMC指令2014/30/EUおよび低電圧指令2014/35/EUに準拠しています。エコデザイン指令2009/125/ECおよび無線機器指令2014/53/EU。

周波数範囲: 2400～2483.5 MHz、5150～5250 MHz

最大出力: 20dBm未満

### 次の情報は、EU加盟国のみ適用されます:

右側のマークは、廃電気電子機器指令2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収および回収システムを使用する必要がありますを示しています。



## RoHS2コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令2011/65/EU（電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令（RoHS2指令））に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会（TAC）が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます：

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr6 <sup>+</sup> )	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
Benzyl butyl phthalate (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記のRoHS2指令の附属書IIIの下で免除されています。免除されているコンポーネントの例を以下に挙げます：

- 以下を超えない特殊用途用冷陰極蛍光灯および外部電極蛍光灯（CCFLおよびEEFL）の水銀（ランプあたり）：
  - 短いランプ（500mm）：ランプあたり最大3.5 mg。
  - 中程度のランプ（> 500 mm～1,500 mm）：ランプあたり最大5 mg。
  - 長いランプ（> 1,500 mm以上）：ランプあたり最大13 mg。
- 陰極線管のガラス中の鉛。
- 重量0.2 %を超えない蛍光灯のガラス中の鉛。
- 重量0.4 %までの鉛を含むアルミニウムの合金元素としての鉛。
- 鉛を重量4 %まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛（すなわち、鉛を重量85 %以上含む鉛ベースの合金）。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品（例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中）。

## インドの有害物質規制

有害物質規制に関する声明(インド)。本製品は、「インドE廃棄ルール2011」に準拠しており、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭素化ビフェニルまたはポリ臭素化ジフェニルエーテルに対する濃度が0.1重量%、カドミウムに対する濃度が0.01重量%を超えることが禁止されています。ただし、規則の附属書2に定められた免除を除きます。

## 製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄

ViewSonic®は環境を尊重し、環境に配慮した緑化に取り組んでいます。よりスマートな、よりグリーンなコンピューティングに参加していただきありがとうございます。詳細については、ViewSonic®のWebサイトをご覧ください。

### 米国およびカナダ:

<https://www.viewsonic.com/us/go-green-with-viewsonic>

### 欧州:

<https://www.viewsonic.com/eu/go-green-with-viewsonic>

### 台湾:

<https://recycle.epa.gov.tw/>

## 著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2023. All rights reserved. 著作権所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic 及び 3 羽の鳥のロゴは ViewSonic 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。  
DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

ENERGY STAR® は米国環境保護庁 (EPA) の登録商標です。

ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporationは本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

**免責条項:** ViewSonic® Corporationは、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporationは製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic® Corporationから事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

## カスタマーサポート

技術サポート、または製品サービスについては下記ウェブサイトをご覧ください。

**注意事項：**製品のシリアル番号が必要です。

国/地域	ウェブサイト	国/地域	ウェブサイト
<b>アジア太平洋およびアフリカ</b>			
Australia	<a href="http://www.viewsonic.com/au/">www.viewsonic.com/au/</a>	Bangladesh	<a href="http://www.viewsonic.com/bd/">www.viewsonic.com/bd/</a>
中国 (China)	<a href="http://www.viewsonic.com.cn">www.viewsonic.com.cn</a>	香港 (繁體中文)	<a href="http://www.viewsonic.com/hk/">www.viewsonic.com/hk/</a>
Hong Kong (English)	<a href="http://www.viewsonic.com/hk-en/">www.viewsonic.com/hk-en/</a>	India	<a href="http://www.viewsonic.com/in/">www.viewsonic.com/in/</a>
Indonesia	<a href="http://www.viewsonic.com/id/">www.viewsonic.com/id/</a>	Israel	<a href="http://www.viewsonic.com/il/">www.viewsonic.com/il/</a>
日本 (Japan)	<a href="http://www.viewsonic.com/jp/">www.viewsonic.com/jp/</a>	Korea	<a href="http://www.viewsonic.com/kr/">www.viewsonic.com/kr/</a>
Malaysia	<a href="http://www.viewsonic.com/my/">www.viewsonic.com/my/</a>	Middle East	<a href="http://www.viewsonic.com/me/">www.viewsonic.com/me/</a>
Myanmar	<a href="http://www.viewsonic.com/mm/">www.viewsonic.com/mm/</a>	Nepal	<a href="http://www.viewsonic.com/np/">www.viewsonic.com/np/</a>
New Zealand	<a href="http://www.viewsonic.com/nz/">www.viewsonic.com/nz/</a>	Pakistan	<a href="http://www.viewsonic.com/pk/">www.viewsonic.com/pk/</a>
Philippines	<a href="http://www.viewsonic.com/ph/">www.viewsonic.com/ph/</a>	Singapore	<a href="http://www.viewsonic.com/sg/">www.viewsonic.com/sg/</a>
臺灣 (Taiwan)	<a href="http://www.viewsonic.com/tw/">www.viewsonic.com/tw/</a>	ประเทศไทย	<a href="http://www.viewsonic.com/th/">www.viewsonic.com/th/</a>
Việt Nam	<a href="http://www.viewsonic.com/vn/">www.viewsonic.com/vn/</a>	South Africa & Mauritius	<a href="http://www.viewsonic.com/za/">www.viewsonic.com/za/</a>
<b>アメリカ</b>			
United States	<a href="http://www.viewsonic.com/us">www.viewsonic.com/us</a>	Canada	<a href="http://www.viewsonic.com/us">www.viewsonic.com/us</a>
Latin America	<a href="http://www.viewsonic.com/la">www.viewsonic.com/la</a>		
<b>欧州</b>			
Europe	<a href="http://www.viewsonic.com/eu/">www.viewsonic.com/eu/</a>	France	<a href="http://www.viewsonic.com/fr/">www.viewsonic.com/fr/</a>
Deutschland	<a href="http://www.viewsonic.com/de/">www.viewsonic.com/de/</a>	Қазақстан	<a href="http://www.viewsonic.com/kz/">www.viewsonic.com/kz/</a>
Россия	<a href="http://www.viewsonic.com/ru/">www.viewsonic.com/ru/</a>	España	<a href="http://www.viewsonic.com/es/">www.viewsonic.com/es/</a>
Türkiye	<a href="http://www.viewsonic.com/tr/">www.viewsonic.com/tr/</a>	Україна	<a href="http://www.viewsonic.com/ua/">www.viewsonic.com/ua/</a>
United Kingdom	<a href="http://www.viewsonic.com/uk/">www.viewsonic.com/uk/</a>		

## 限定保証

### ViewSonic®プロジェクター

#### 保証内容:

ViewSonic®は、保証期間中、通常の使用の下で、製品に材料や製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間中に製品の材料または製造上の欠陥が判明した場合、ViewSonic®は、唯一の救済策として、修理または類似の製品に交換します。交換用の製品または部品には、再生または改装された部品またはコンポーネントが含まれる場合があります。

#### 通常使用の場合の3年間限定保証:

南北アメリカでは、下記の1年間の限定保証が適用されます。ランプを除くすべての部品の保証期間は3年間、工作に対する保証期間は3年間、元のランプの保証期間は1年間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。

その他の地域または国：保証情報については、最寄りの販売店または最寄りのViewSonic®オフィスに確認してください。

#### 多用される場合の1年間限定保証:

南北アメリカにおいて、プロジェクターの使用が1日の平均使用時間が14時間を超えるような、過酷な使用環境では、ランプを除くすべての部品の保証期間は1年間、工作に対する保証期間は1年間、元のランプの保証期間は90日間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。欧州：ランプを除くすべての部品の保証期間は1年間、工作に対する保証期間は1年間、元のランプの保証期間は90日間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。その他の地域または国：保証情報については、最寄りの販売店または最寄りのViewSonic®オフィスに確認してください。ランプの保証は、契約条件、検証および承認に従います。メーカーが設置したランプのみに適用されます。別途購入したアクセサリランプは、すべて90日間保証されます。

#### 保証対象者:

この保証は、最初の消費者購入者にのみ有効です。

#### 保証対象外:

1. シリアル番号が破損、変更、または削除された製品。
2. 以下に起因する損傷、劣化、または誤動作：
  - ™ 事故、誤用、怠慢、火災、洪水、雷、または自然災害、不正な製品の変更、または製品に付属の説明書の不順守。
  - ™ 製品仕様外の操作。



- ™ 通常の使用目的以外での、または通常の条件下以外での製品の操作。
- ™ ViewSonic®の認可を受けていない者による修理または修理の試み。
- ™ 出荷による製品の損傷。
- ™ 製品の取り外しまたは取り付け。
- ™ 電力の変動や停電など、製品外部の原因。
- ™ ViewSonicの仕様を満たしていない消耗品または部品の使用。
- ™ 通常の損耗。
- ™ 製品の欠陥に関係しないその他の原因。

### 3. 取り外し、設置、設定サービス料金。

#### **サービスを受ける方法：**

1. 保証サービスを受ける方法については、ViewSonic®カスタマサポートにお問い合わせください（「カスタマーサポート」のページを参照してください）。製品のシリアル番号を提供してください。
2. 保証サービスを受けるために、以下を提供してください：(a) 元の日付付き売上伝票、(b) 名前、(c) 住所、(d) 問題の説明、(e) 製品のシリアル番号。
3. 元のコンテナに保管された製品を認可されたViewSonic®サービスセンターまたはViewSonic®に持ち込むか、料金前払いで出荷してください。
4. 最寄りのViewSonic®サービスセンターの追加情報または名称については、ViewSonic®にお問い合わせください。

#### **黙示の保証の制限：**

商品性および特定の目的への適合性を含め、ここに記載されている内容を超える明示または黙示の保証はありません。

## 損害の除外:

ViewSonicの責任は、製品の修理または交換の費用に限られます。ViewSonic®は、以下の責任を負わないものとします:

1. 不具合に起因する損害、製品の使用の喪失、時間の損失、利益の損失、事業機会の喪失、のれんの喪失、取引関係への干渉、または、その他の商業的損失(たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも)。
2. 偶発的、派生的、またはそれ以外のその他の損害。
3. 他の当事者による顧客に対するクレーム。

## 州法の効果:

本保証は、お客様に特定の法的権利を付与するものであり、また地方自治体ごとに異なるその他の権利を有する場合があります。一部の地方自治体では、黙示の保証の制限を認めない、または、付随的または間接的な損害の除外を認めないため、上記の制限および除外が適用されない場合があります。

## 米国およびカナダ外の販売:

米国およびカナダ以外で販売されるViewSonic®製品の保証情報とサービスについては、ViewSonic®またはお近くのViewSonic®販売店にお問い合わせください。

中国本土(香港、マカオ、台湾除く)における本製品の保証期間は、保守保証保証書の条件に従います。

欧州およびロシアのユーザーの場合、提供される保証の詳細は、次のURLを参照してください: <http://www.viewsonic.com/eu/>の「サポート/保証情報」。



**ViewSonic®**  
*See the difference®*